NISSHIN

改質アスファルトシート防水 粘着・トーチ併用工法

カスタムEE工法

日新工業株式会社

カスタムEE工法とは

カスタムEE工法は、下地へは粘着層で接着し、ジョイント部等はトーチバーナーを用いてルーフィングを溶融一体化させる工法です。

Ecology 環境対応

- アスファルト防水熱工法に比べて現場作業における高温の作業が少なく、またプライマーも原則として水性系を使用しますので、溶剤による作業者への影響が少ない工法です。
- 地球温暖化に影響する二酸化炭素の発生量が少なく、現場にやさしい省エネルギー工法です。
- トーチバーナーの使用はジョイント部等に限定されるため、施工時の臭い･煙・騒音など周辺環境におよぼす影響が殆どありません。

Economy 経済性

- 従来工法に比べて施工効率が大幅にアップし、作業の省力化が図れます。

Expert 信頼性

- 防水層で最も重要なジョイント部等について､トーチバーナーを用いて溶融一体化させますので、信頼性の高い防水層が構築できます。

カスタムEE工法とは
- 環境対応／経済性／信頼性 2

特徴・仕様構成
- 改修に適した工法（他の常温粘着工法と何が違うの？） 4
- 仕様記号の見方 5

防水仕様
- 新築工事･既存保護コンクリート･既存防水層撤去 6-11
- 既存アスファルト防水層 12-17
- 既存合成高分子防水層 18-19
- 機械的固定断熱工法 20
- 架台回り 21
- 勾配屋根工法 22-23
- 公共建築工事・改修工事標準仕様書 24
- （一社）日本建築学会 JASS 8 仕様書 25

施工のポイント
- 防水下地のチェックポイント 26-27
- 施工管理のチェックポイント 28-29

施工方法
- 出入隅角部・ALCパネル・パイプ回り施工方法 30-31
- ドレン部の施工及びルーフィングの張り付け方法 32-33
- ルーフィング張り付け方法（断熱工法の場合） 34-35

技術資料
- 防水層の耐風圧性について 36-37
- 建築基準法（飛び火）について 38-39

材料一覧
- ルーフィング類／副資材 40-41
- プライマー／仕上塗料／下地調整材 42-43
- 仕上材／断熱材／改修用ドレン 44-45
- 脱気装置／副資材･工具／ディスク･ビス類／太陽電池基礎架台 46-47
- 水切金物／勾配屋根工法用製品 48-51
- 材料一覧表 52

維持管理
- 防水層の維持管理について 53

改修に適した工法

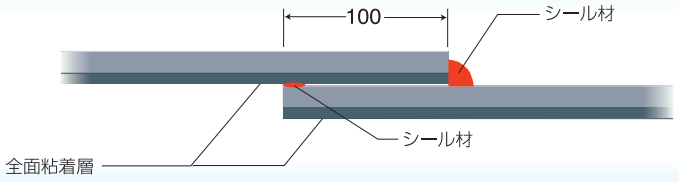
カスタムEE工法は火気を殆ど使用せず、様々な下地に対応した仕様があり、改修工事に非常に適した工法です。
その中でも、特に既存アスファルト防水の改修工事に最適です。
次回の改修の際も採用が可能で、長期修繕計画を立てやすい工法です。

他の常温粘着工法と何が違うの?

トーチ工法はルーフィング同士の接合部を、トーチバーナーを用いて溶融することにより、ルーフィング同士を一体化させることができます。
これに対して「常温粘着工法」はルーフィング同士の接合部を、粘着層の接着力に頼る(補助的にシール材を併用)ことから、水密性に難がありました。
カスタムEE工法は下図にもある通り、ルーフィング接合部等に限り、粘着とトーチバーナー溶融を併用させることで、他社と異なり、水密性を飛躍的に向上させることが出来ます。
(一般的な常温粘着工法でも立上り・役物回り等では、火気の使用があります)

一般的な常温工法の施工方法

POINT ジョイント部を粘着層とシール材に頼った工法

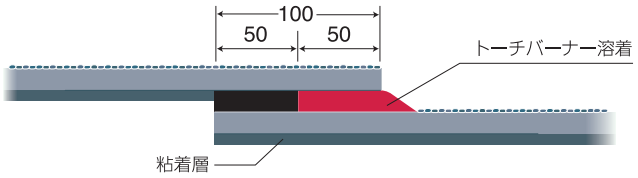


カスタムEE工法の施工方法

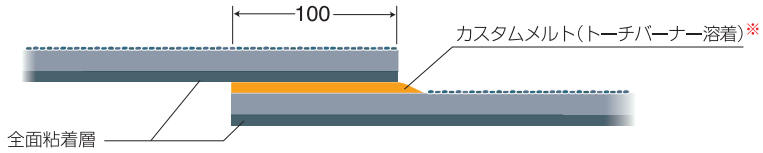
POINT 粘着とトーチバーナー溶融を併用させることにより
相互のルーフィングが一体化!!

砂付ルーフィング接合部

サイドラップ処理



エンドラップ処理



※カスタムメルトを使用せず、下層ルーフィングの表面砂をトーチバーナーで処理して施工することも可能です。

仕様記号の見方

各記号との対応表

	記号	内容
1 仕様の種類	F	保護仕様
	S	露出仕様
	K	勾配屋根
2 下地の種類	C	コンクリート
	A	アスファルト防水層
	S	合成高分子系防水層
3 断熱性能	1	非断熱
	2	断熱
	3	断熱（防湿層あり）
	4	断熱（機械固定工法）
4 ルーフィングの枚数	1	ルーフィングが１枚（単層）
	2	ルーフィングが２枚（複層）
5 工法の種類	0	密着工法
	1	絶縁工法
6 砂付の種類	F	露出複層防水工法でカスタムサンドAFをカスタムサンドUFに替える場合
	SN	勾配屋根工法でカスタムサンドUFをカラーカスタムサンドKに替える場合
7 仕上塗料の種類	NZ	プレノカラー遮熱（カラー遮熱）
	MB	サーモロックカラーMB（暗色系カラー遮熱）
	FP	FPクール（飛び火抑制･遮熱）
	H	ハイクール（高耐候性遮熱）
	R	ロッコート（飛び火抑制）
仕上材の種類	PF	PFシステム（乾式浮床）
	T	トップタイト（アスファルト成形板）
	K	カチトール（砂利まき）
	B	ピロブロック（コンクリート成型ブロック）
	C	コンクリート（モルタル）

新築工事・既存保護コンクリート

露出仕様　密着工法

ESC-110
単層工法

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1/50～1/20	
重量	5.6kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	カスタムサンドUF	カスタムサンドUF
3	仕上塗料	仕上塗料
4	—	—

ESC-120
複層工法

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1/50～1/20	
重量	6.9kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBF	EEルーフBF
3	カスタムサンドAF	カスタムサンドAF
4	仕上塗料	仕上塗料

特記事項

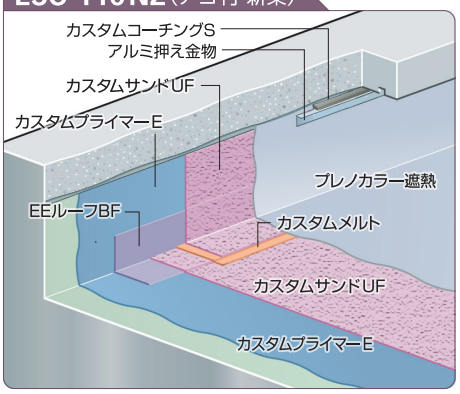
「カスタムサンドAF」に替えて、「カスタムサンドUF」を使用することもできます。
その際は、仕様記号にFを付けます。

例

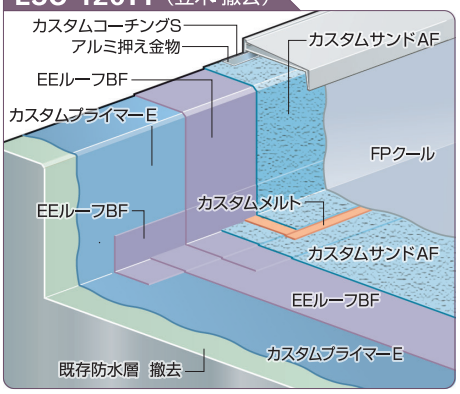
ESC-120F
複層工法

1	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBF
3	カスタムサンドUF
4	仕上塗料

ESC-110NZ（アゴ付 新築）



ESC-120FP（笠木 撤去）



重量表記について

各仕様に掲載されている重量は以下を参考にしてください。

例 ESC-110の場合

カスタムプライマーE　0.2kg/m²
カスタムサンドUF　38kg
38kg×1.14（係数）÷8（m）
≒5.4kg/m²
0.2＋5.4=5.6kg/m²

※掲載重量は仕上塗料を含まず、プライマーは塗布量で計算しております。

勾配屋根に採用する場合

●p. 22をご参照ください。

標準仕上塗料（遮熱）

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m²	0.5kg/m²	0.8kg/m²	0.5kg/m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロッコート※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg/m²
塗替の目安	7～9年

■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

・既存防水層撤去 ①

露出仕様　絶縁工法

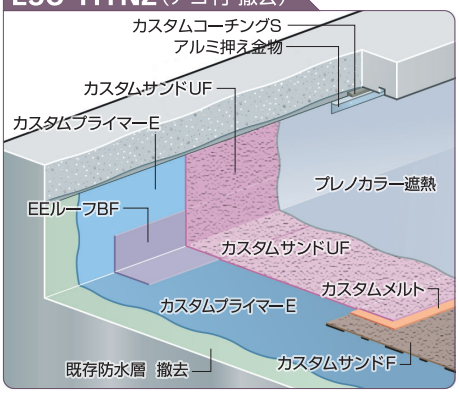
ESC-111
単層工法

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1/50～1/20	
重量	5.3kg/m²	
厚み	3.5mm	
工程	平　場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	カスタムサンドF	カスタムサンドUF
3	仕上塗料	仕上塗料
4	—	—

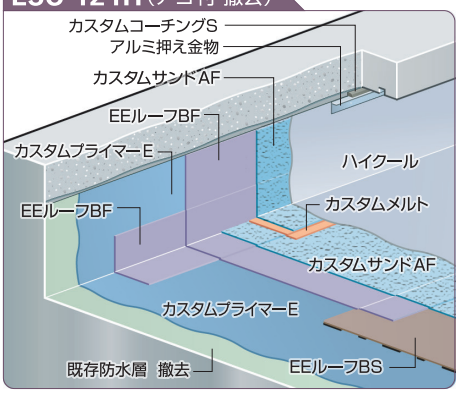
ESC-121
複層工法

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1/50～1/20	
重量	7.5kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBS	EEルーフBF
3	カスタムサンドAF	カスタムサンドAF
4	仕上塗料	仕上塗料

ESC-111 NZ（アゴ付 撤去）



ESC-121H（アゴ付 撤去）

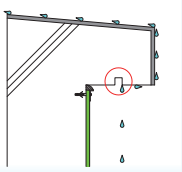


アゴ下に水切り目地がない場合

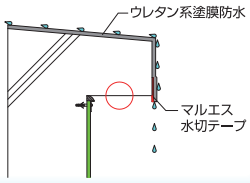
アゴ下に水切り目地がない場合には、「マルエス水切テープ」を使用してください。
詳細は「セピロン防水」カタログをご参照ください。

マルエス水切テープ納まり図

■水切り目地あり



■水切り目地なし



注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を50～100m²に1個設置する脱気工法の採用をお勧めします。
- 既存保護コンクリート下地の場合は、原則として絶縁工法（ESC-111、ESC-121）を採用してください。
- 部分的に防水層へ保護材を設ける場合（メンテナンス通路等）は、「トップタイト」を使用することができます。

露出断熱仕様　密着工法

ESC-210※
単層工法　（防湿層無）

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1／50～1／20	
重量	7.8kg／m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA 0.8kg／m²	カスタムプライマーE 0.2kg／m²
2	シェーンボード 30mm	カスタムサンドUF
3	カスタムサンドUF	仕上塗料
4	仕上塗料	—
5	—	—
6	—	—

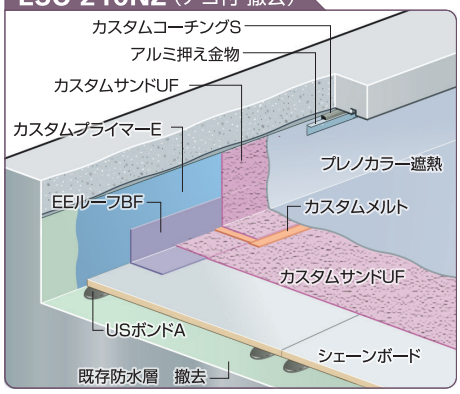
ESC-220※
複層工法　（防湿層無）

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1／50～1／20	
重量	9.1kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA 0.8kg／m²	カスタムプライマーE 0.2kg／m²
2	シェーンボード 30mm	EEルーフBF
3	EEルーフBF	カスタムサンドAF
4	カスタムサンドAF	仕上塗料
5	仕上塗料	—
6	—	—

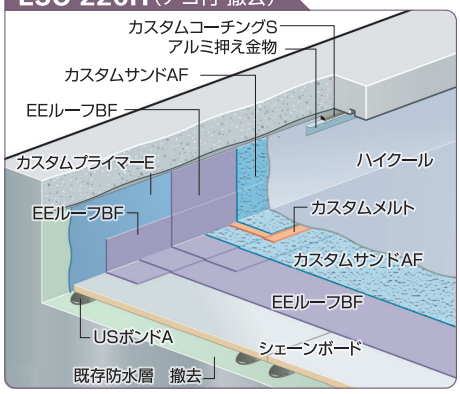
ESC-310※
単層工法　（防湿層有）

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1／50～1／20	
重量	9.5kg／m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg／m²	カスタムプライマーE 0.2kg／m²
2	カスタムM	カスタムサンドUF
3	USボンドA 0.8kg／m²	仕上塗料
4	シェーンボード 30mm	—
5	カスタムサンドUF	—
6	仕上塗料	—

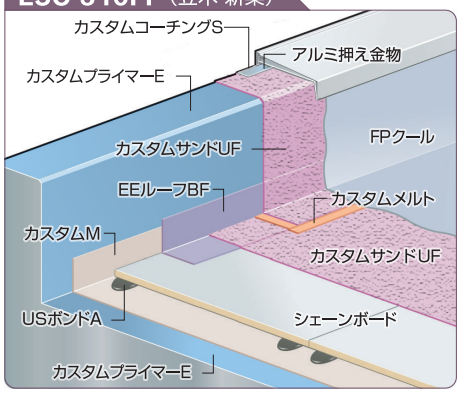
ESC-210NZ（アゴ付 撤去）



ESC-220H（アゴ付 撤去）



ESC-310FP（笠木 新築）



特記事項

「**カスタムサンドAF**」に替えて、「**カスタムサンドUF**」を使用することもできます。その際は、仕様記号にFを付けます。

例

ESC-220F※ 複層工法　（防湿層無）	1	2	3	4	5
	USボンドA 0.5kg／m²	シェーンボード 30 mm	EEルーフ BF	カスタムサンドUF	仕上塗料

標準仕上塗料（遮熱）

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg／m²	0.5kg／m²	0.8kg／m²	0.5kg／m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロッコート※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg／m²
塗替の目安	7～9年

■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

露出断熱仕様　絶縁工法

ESC-320※

複層工法　（防湿層有）

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1/50～1/20	
重量	10.8kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	カスタムM	EEルーフBF
3	USボンドA 0.8kg/m²	カスタムサンドAF
4	シェーンボード 30mm	仕上塗料
5	EEルーフBF	—
6	カスタムサンドAF	—
7	仕上塗料	—

ESC-221※

複層工法　（防湿層無）

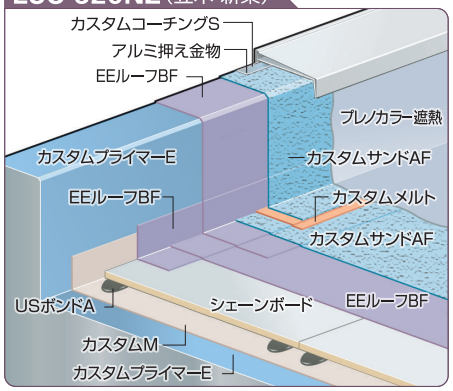
下地	RC·PC·ALC	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.6kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA 0.8kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	シェーンボード 30mm	EEルーフBF
3	EEルーフBS	カスタムサンドAF
4	カスタムサンドAF	仕上塗料
5	仕上塗料	—
6	—	—
7	—	—

ESC-321※

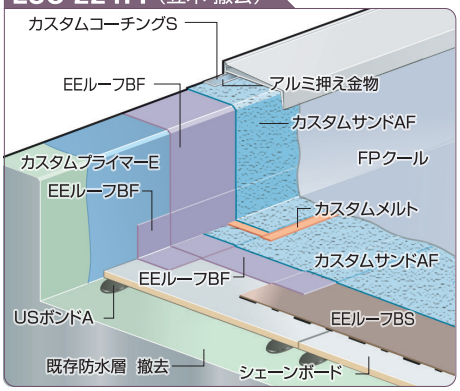
複層工法　（防湿層有）

下地	RC·PC·ALC	
勾配	1/50～1/20	
重量	11.3kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	カスタムM	EEルーフBF
3	USボンドA 0.8kg/m²	カスタムサンドAF
4	シェーンボード 30mm	仕上塗料
5	EEルーフBS	—
6	カスタムサンドAF	—
7	仕上塗料	—

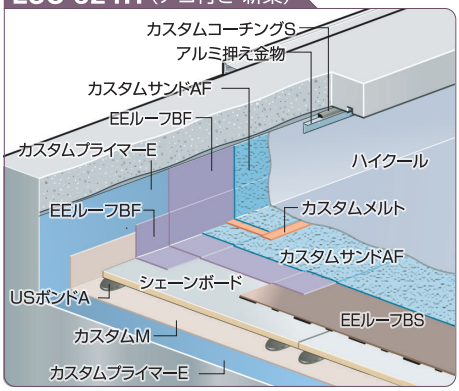
ESC-320NZ（笠木 新築）



ESC-221FP（笠木 撤去）



ESC-321H（アゴ付き 新築）



飛び火認定について

※国土交通省より、飛び火認定（DR-1055・DR-2007(2)・DR-2084(3)・DR-2084(4)）を取得しました。これにより断熱材の厚さが50mmを超える場合でも法第62条（旧第63条）や法第22条の屋根に適用することができます。（詳細は、39頁をご参照ください。）

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を50～100m²に1個設置する脱気工法の採用をお勧めします。
- 既存保護コンクリート下地の場合は、原則として絶縁工法（ESC-221、ESC-321）を採用してください。
- シェーンボードに浮きが生じた場合は、断熱材の背にカッターを入れてなじませます。
- 部分的に防水層へ保護材を設ける場合（メンテナンス通路等）は、「トップタイト」を使用することができます。

新築工事・既存保護コンクリート・既

保護仕様

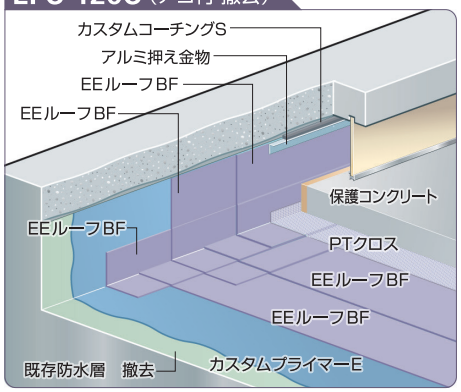
EFC-120
複層密着工法

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	6.0kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBF	EEルーフBF
3	EEルーフBF	EEルーフBF ※1
4	PTクロス	仕上材 ※2
5	仕上材	—
6	—	—
7	—	—

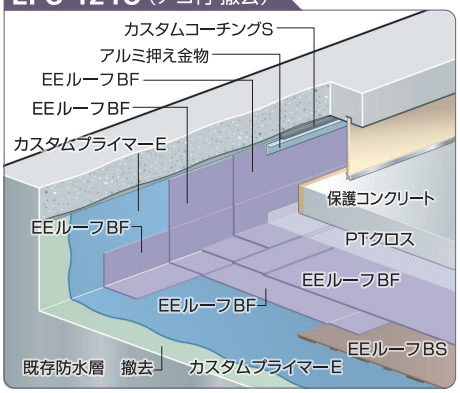
EFC-121
複層絶縁工法

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	6.6kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBS	EEルーフBF
3	EEルーフBF	EEルーフBF※1
4	PTクロス	仕上材 ※2
5	仕上材	—
6	—	—
7	—	—

EFC-120C（アゴ付 撤去）



EFC-121C（アゴ付 撤去）



立上りを砂付仕上げとする場合

※1『EEルーフBF』に替えて『カスタムサンドAF(UF)』を使用します。
※2『仕上材』に替えて『仕上塗料』を使用します。(p.6参照)

仕上材一覧

製品名	PFシステム	トップタイト※	カチトール	ピロブロック	コンクリート
種　類	乾式浮床	アスファルト成形板	砂利まき	コンクリート成型ブロック	コンクリート(モルタル)
仕様記号	PF	T	K	B	C

※「トップタイト」はEFC-120、EFC-121にのみ適用します。

保護断熱仕様

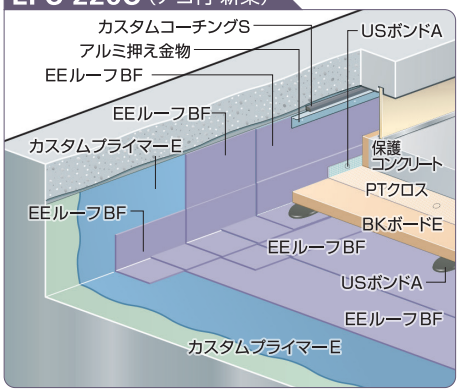
EFC-220
複層密着工法

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	7.8kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBF	EEルーフBF
3	EEルーフBF	EEルーフBF ※1
4	USボンドA 0.5kg/m²	仕上材 ※2
5	BKボードE 35mm	—
6	PTクロス (USボンドA0.2kg/m²)	—
7	仕上材	—

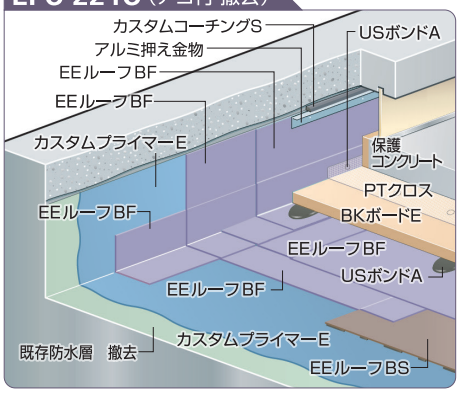
EFC-221
複層絶縁工法

下地	RC	
勾配	1/100～1/50	
重量	8.4kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBS	EEルーフBF
3	EEルーフBF	EEルーフBF ※1
4	USボンドA 0.5kg/m²	仕上材 ※2
5	BKボードE 35mm	—
6	PTクロス (USボンドA0.2kg/m²)	—
7	仕上材	—

EFC-220C（アゴ付 新築）



EFC-221C（アゴ付 撤去）



注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- 「PFシステム」・「トップタイト」・「ピロブロック」仕上げの場合は、PTクロスを省略することができます。

既存アスファルト防水層 ①

露出仕様　密着工法

ESA-110
単層工法

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	6.4kg／m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー※ 1.0kg／m²	カスタムプライマーE 0.2kg／m²
2	カスタムサンドUF	カスタムサンドUF
3	仕上塗料	仕上塗料
4	—	—

ESA-120
複層工法

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	7.7kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー※ 1.0kg／m²	カスタムプライマーE 0.2kg／m²
2	EEルーフBF	EEルーフBF
3	カスタムサンドAF	カスタムサンドAF
4	仕上塗料	仕上塗料

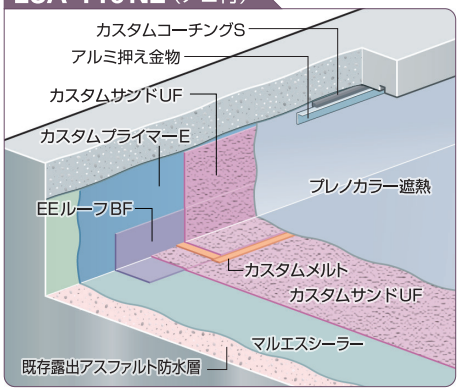
特記事項

「カスタムサンドAF」に替えて、「カスタムサンドUF」を使用することもできます。
その際は、仕様記号にFを付けます。

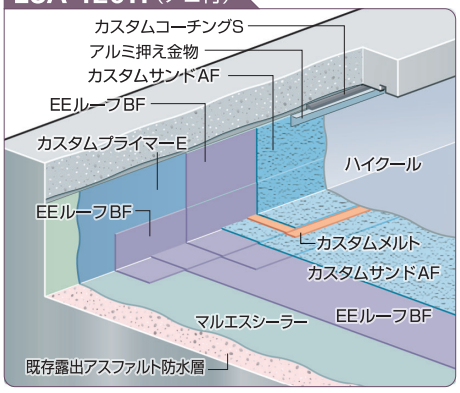
例 **ESA-121F**
複層工法

1	マルエスシーラー※ 1.0kg／m²
2	EEルーフBS
3	カスタムサンドUF
4	仕上塗料

ESA-110NZ（アゴ付）



ESA-120H（アゴ付）



勾配屋根に採用する場合

●p.22をご参照ください。

マルエスシーラー塗布量

※下地の状態によって塗布量は、右記の範囲内とします。　塗布量：0.8kg／m²～1.2kg／m²

標準仕上塗料（遮熱）

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg／m²	0.5kg／m²	0.8kg／m²	0.5kg／m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロッコート※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg／m²
塗替の目安	7～9年

■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

露出仕様　絶縁工法

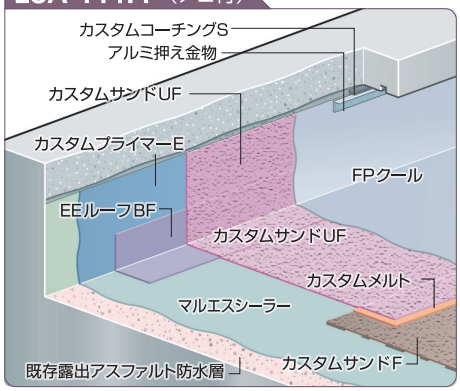
ESA-111
単層工法

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	6.1kg/m²	
厚み	3.5mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー※ 1.0kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	カスタムサンドF	カスタムサンドUF
3	仕上塗料	仕上塗料
4	—	—

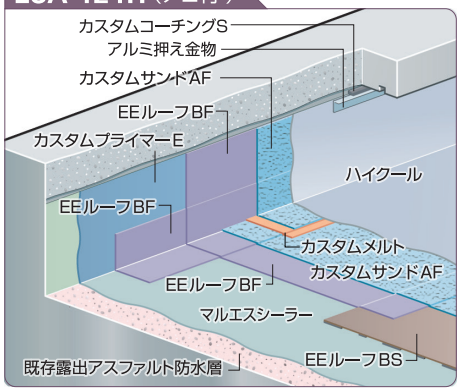
ESA-121
複層工法

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	8.3kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー※ 1.0kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBS	EEルーフBF
3	カスタムサンドAF	カスタムサンドAF
4	仕上塗料	仕上塗料

ESA-111FP（アゴ付）



ESA-121H（アゴ付）



注意事項

- 気象条件や施工条件によって は、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- マルエスシーラーに替えて、AQシーラー（1.5kg/m²）を使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を50～100m²に1個設置する脱気工法の採用をお勧めします。
- 立上り既存防水層は撤去を標準とします。
- 部分的に防水層へ保護材を設ける場合（メンテナンス通路等）は、「トップタイト」を使用することができます。

既存アスファルト防水層②

露出断熱仕様　密着工法

ESA-210
単層工法

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	7.8kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA 0.8kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	シェーンボード 30mm	カスタムサンドUF
3	カスタムサンドUF	仕上塗料
4	仕上塗料	—
5	—	—

ESA-220
複層工法

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.1kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA 0.8kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	シェーンボード 30mm	EEルーフBF
3	EEルーフBF	カスタムサンドAF
4	カスタムサンドAF	仕上塗料
5	仕上塗料	—

特記事項

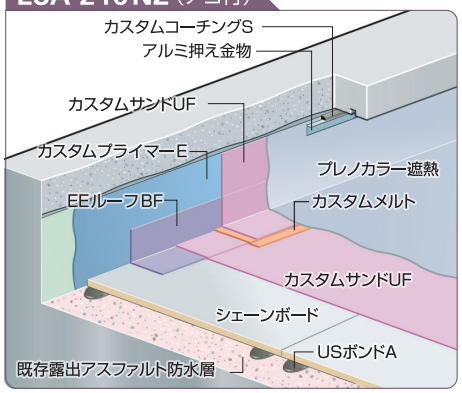
「カスタムサンドAF」に替えて、「カスタムサンドUF」を使用することもできます。
その際は、仕様記号にFを付けます。

例

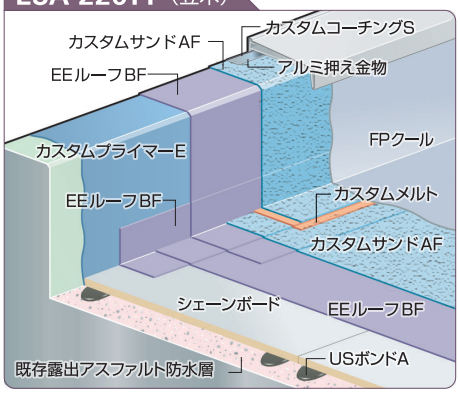
ESA-220F
複層工法

1	USボンドA 0.8kg/m²
2	シェーンボード 30mm
3	EEルーフBF
4	カスタムサンドUF
5	仕上塗料

ESA-210NZ（アゴ付）



ESA-220FP（笠木）



標準仕上塗料（遮熱）

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m²	0.5kg/m²	0.8kg/m²	0.5kg/m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロッコート※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg/m²
塗替の目安	7～9年

■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

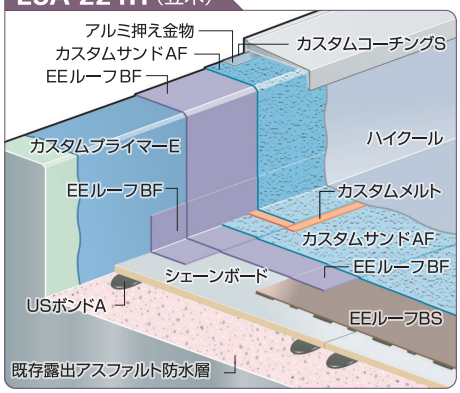
露出断熱仕様　絶縁工法

ESA-221

複層工法

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.6kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USボンドA 0.8kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	シェーンボード 30mm	EEルーフBF
3	EEルーフBS	カスタムサンドAF
4	カスタムサンドAF	仕上塗料
5	仕上塗料	―

ESA-221H（笠木）



注意事項

- 気象条件や施工条件によって は、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- 下地の状況によっては、下地処理（AQシーラー）を行ってください。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を50～100m²に1個設置する脱気工法の採用をお勧めします。
- シェーンボードに浮きが生じた場合は、断熱材の背にカッターを入れてなじませます。
- 下地調整材としてマルエスシーラーを塗布する場合は、工程1のUSボンドAに替えてUSボンド（0.5kg/ m²）を使用してください。
- 部分的に防水層へ保護材を設ける場合（メンテナンス通路等）は、「トップタイト」を使用することができます。

既存アスファルト防水層 ③

保護仕様

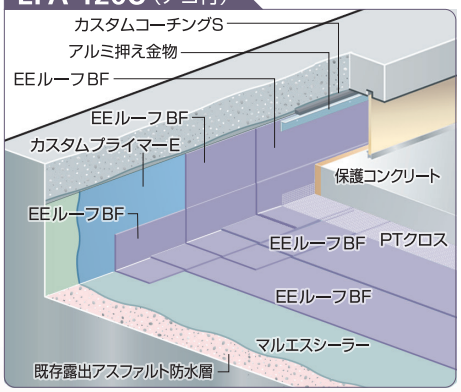
EFA-120
複層密着工法

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/100～1/50	
重量	6.8kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー※ 1.0kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBF	EEルーフBF
3	EEルーフBF	EEルーフBF ※1
4	PTクロス	仕上材 ※2
5	仕上材	—
6	—	—
7	—	—

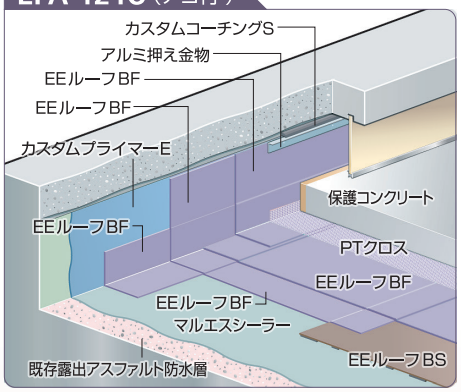
EFA-121
複層絶縁工法

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/100～1/50	
重量	7.4kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー※ 1.0kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBS	EEルーフBF
3	EEルーフBF	EEルーフBF ※1
4	PTクロス	仕上材 ※2
5	仕上材	—
6	—	—
7	—	—

EFA-120C（アゴ付）



EFA-121C（アゴ付）



立上りを砂付仕上げとする場合　※1『EEルーフBF』に替えて『カスタムサンドAF(UF)』を使用します。　※2『仕上材』に替えて『仕上塗料』を使用します。(p.6参照)

マルエスシーラー塗布量　※下地の状態によって塗布量は、右記の範囲内とします。　塗布量: 0.8kg/m²～1.2kg/m²

仕上材一覧

製品名	PFシステム	トップタイト※	カチトール	ピロブロック	コンクリート
種　類	乾式浮床	アスファルト成形板	砂利まき	コンクリート成型ブロック	コンクリート(モルタル)
仕様記号	PF	T	K	B	C

※「トップタイト」はEFA-120、EFA-121にのみ適用します。

保護断熱仕様

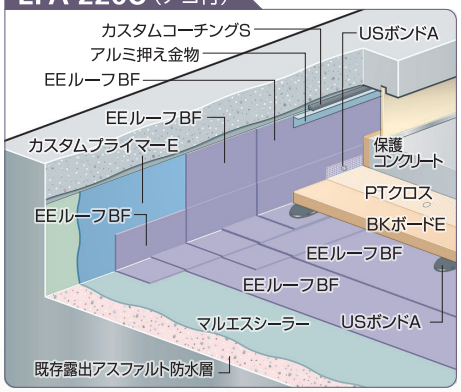
EFA-220
複層密着工法

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/100～1/50	
重量	8.6kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー※ 1.0kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBF	EEルーフBF
3	EEルーフBF	EEルーフBF ※1
4	USボンドA 0.5kg/m²	仕上材 ※2
5	BKボードE 35mm	—
6	PTクロス (USボンドA0.2kg/m²)	—
7	仕上材	—

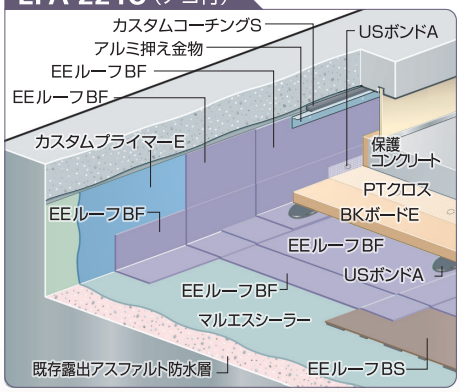
EFA-221
複層絶縁工法

下地	アスファルト防水層	
勾配	1/100～1/50	
重量	9.2kg/m²	
厚み	4.5mm	
工程	平　場	立上り
1	マルエスシーラー※ 1.0kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBS	EEルーフBF
3	EEルーフBF	EEルーフBF ※1
4	USボンドA 0.5kg/m²	仕上材 ※2
5	BKボードE 35mm	—
6	PTクロス (USボンドA0.2kg/m²)	—
7	仕上材	—

EFA-220C（アゴ付）



EFA-221C（アゴ付）



注意事項

- 気象条件や施工条件によって は、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- マルエスシーラーに替えて、AQシーラー（1.5kg/m²）を使用することもできます。
- 「PFシステム」「トップタイト」「ピロブロック」仕上げの場合は、PTクロスを省略することができます。
- 立上り既存防水層は撤去を標準とします。

既存合成高分子系防水層

露出仕様

ESS-110
単層密着工法

下地	合成高分子系防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	5.5kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USプライマーM2 0.1kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	カスタムサンドUF	カスタムサンドUF
3	仕上塗料	仕上塗料
4	—	—

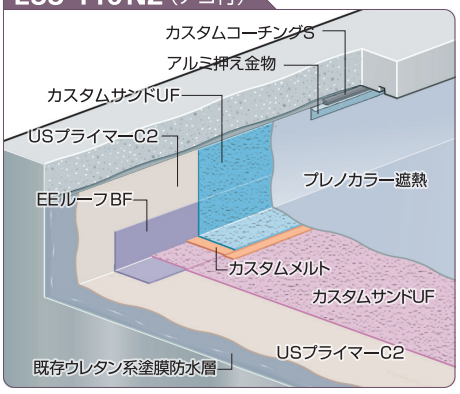
ESS-120
複層密着工法

下地	合成高分子系防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	6.8kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USプライマーM2 0.1kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBF	EEルーフBF
3	カスタムサンドAF	カスタムサンドAF
4	仕上塗料	仕上塗料

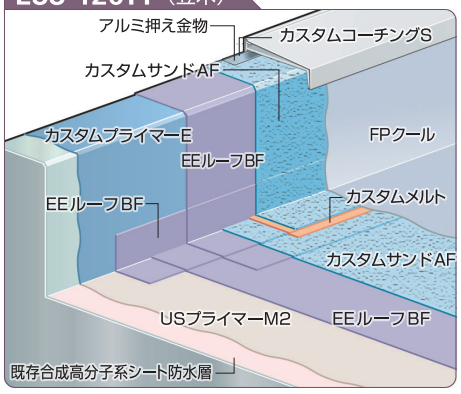
ESS-121
複層絶縁工法

下地	合成高分子系防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	7.4kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USプライマーM2 0.1kg/m²	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	EEルーフBS	EEルーフBF
3	カスタムサンドAF	カスタムサンドAF
4	仕上塗料	仕上塗料

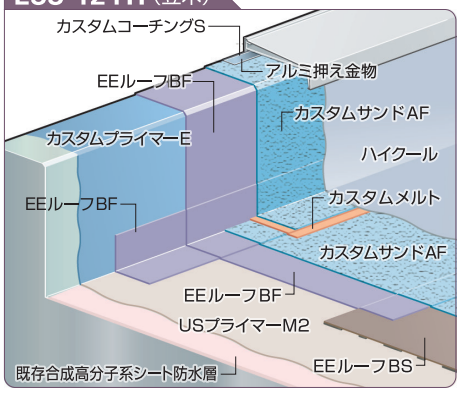
ESS-110NZ（アゴ付）



ESS-120FP（笠木）



ESS-121H（笠木）



特記事項

「カスタムサンドAF」に替えて、「カスタムサンドUF」を使用することもできます。その際は、仕様記号にFを付けます。

例

ESS-120F 複層密着工法	1	2	3	4
	USプライマーM2 0.1kg/m²	EEルーフBF	カスタムサンドUF	仕上塗料

標準仕上塗料（遮熱）

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m²	0.5kg/m²	0.8kg/m²	0.5kg/m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロッコート※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg/m²
塗替の目安	7～9年

■弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

露出断熱仕様

ESS-210
単層密着工法

下地	合成高分子系防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	7.9kg／m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USプライマーM2 0.1kg／m²	カスタムプライマーE 0.2kg／m²
2	USボンドA 0.8kg／m²	カスタムサンドUF
3	シェーンボード 30mm	仕上塗料
4	カスタムサンドUF	—
5	仕上塗料	—
6	—	—

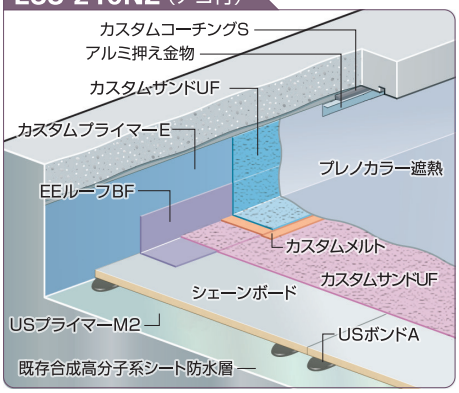
ESS-220
複層密着工法

下地	合成高分子系防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.2kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USプライマーM2 0.1kg／m²	カスタムプライマーE 0.2kg／m²
2	USボンドA 0.8kg／m²	EEルーフBF
3	シェーンボード 30mm	カスタムサンドAF
4	EEルーフBF	仕上塗料
5	カスタムサンドAF	—
6	仕上塗料	—

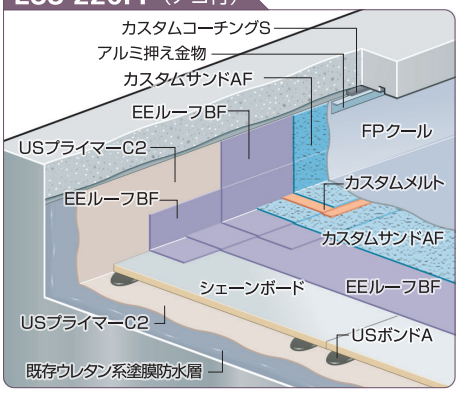
ESS-221
複層絶縁工法

下地	合成高分子系防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.7kg／m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	USプライマーM2 0.1kg／m²	カスタムプライマーE 0.2kg／m²
2	USボンドA 0.8kg／m²	EEルーフBF
3	シェーンボード 30mm	カスタムサンドAF
4	EEルーフBS	仕上塗料
5	カスタムサンドAF	—
6	仕上塗料	—

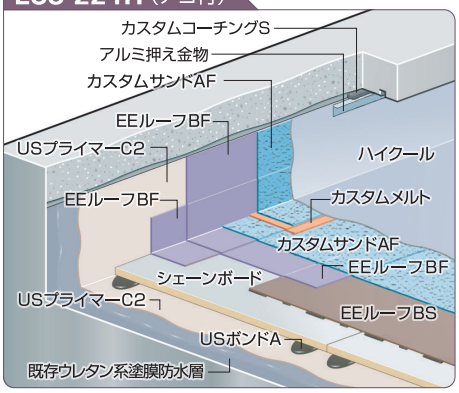
ESS-210NZ（アゴ付）



ESS-220FP（アゴ付）



ESS-221H（アゴ付）



注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- 既存防水層がゴムシート防水の場合は、USプライマーM2に替えて、カスタムプライマー（0.2kg／m²）を使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を50～100m²に1個設置する脱気工法の採用をお勧めします。
- 既存防水層がウレタン系塗膜防水の場合は、USプライマーM2に替えて、USプライマーC2（0.2kg／m²）を塗布します。
- 部分的に防水層へ保護材を設ける場合（メンテナンス通路等）は、「トップタイト」を使用することができます。
- 上記工法は全て、「塩ビシート防水下地」「ゴムシート防水下地」「ウレタン塗膜防水下地」で施工できます。

機械的固定断熱工法

単層仕様

ESC,ESA,ESS -410

単層密着断熱工法

下地	RC、アスファルト防水層、合成高分子系防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	7.2kg/m²	
厚み	4.0mm	
工程	平　場	立上り
1	シェーンボード	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	メカディスクB（2個/枚）	カスタムサンドUF
3	カスタムサンドUF	仕上塗料
4	仕上塗料	—
5	—	—

複層仕様

ESC,ESA,ESS -420

複層密着断熱工法

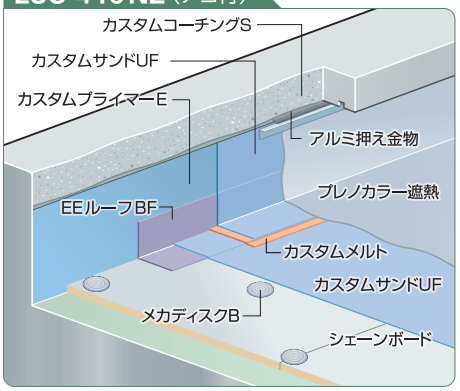
下地	RC、アスファルト防水層、合成高分子系防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	8.4kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	シェーンボード	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	メカディスクB（2個/枚）	EEルーフBF
3	EEルーフBF	カスタムサンドAF
4	カスタムサンドAF	仕上塗料
5	仕上塗料	—

ESC,ESA,ESS -421

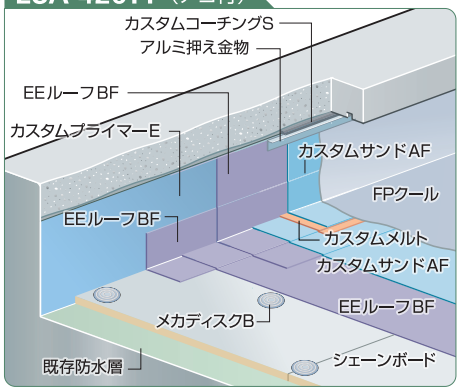
複層絶縁断熱工法

下地	RC、アスファルト防水層、合成高分子系防水層	
勾配	1/50～1/20	
重量	9.0kg/m²	
厚み	5.0mm	
工程	平　場	立上り
1	シェーンボード	カスタムプライマーE 0.2kg/m²
2	メカディスクB（2個/枚）	EEルーフBF
3	EEルーフBS	カスタムサンドAF
4	カスタムサンドAF	仕上塗料
5	仕上塗料	—

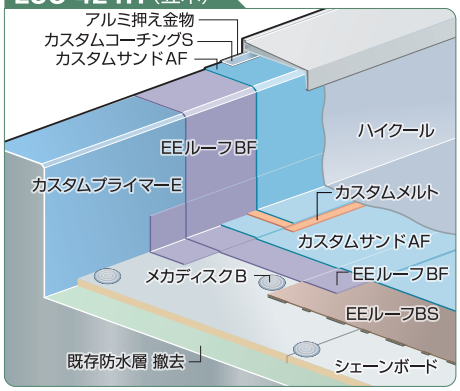
ESC-410NZ（アゴ付）



ESA-420FP（アゴ付）



ESC-421H（笠木）



特記事項

「**カスタムサンドAF**」に替えて、「**カスタムサンドUF**」を使用することもできます。その際は、仕様記号にFを付けます。

例

ESS-421F 複層絶縁工法	1	2	3	4	5
	シェーンボード	メカディスクB（2個/枚）	EEルーフBS	カスタムサンドUF	仕上塗料

注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- 絶縁工法には、「ニューステンレスベント」を50～100m²に1個設置する脱気工法の採用をお勧めします。
- 既存保護コンクリート下地の場合は、原則として絶縁工法（ESC-421）を採用してください。
- 部分的に防水層へ保護材を設ける場合（メンテナンス通路等）は、「トップタイト」を使用することができます。

架台回り

PK-35

部位	架台回り
1	キュービックコート(入隅部増塗り) 0.2kg/m (W=200)
2	クロスK張付け(入隅部増張り)
3	キュービックコート 1.0kg/m²
4	クロスK張付け
5	キュービックコート 1.0kg/m²
6	キュービックコート 1.0kg/m²
7	USプライマーC20※1 0.4kg/m²
8	仕上塗料※2

※1 USプライマーC20は、USプライマーC2とポルトランドセメントを重量比1:1の割合で混合したものです。
※2 仕上塗料は、必ずUSプライマーC20(0.4kg/m²)を塗布・乾燥後、翌日以降に施工してください。
(翌日以降に施工しないとブリードする恐れがあります)

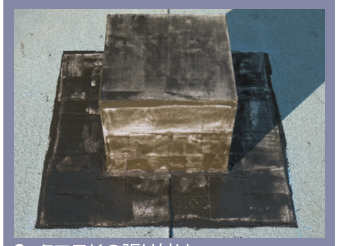
キュービックコートは、カスタムEE防水材料との接着性に優れた湿気硬化型塗膜防水材です。「架台回り」「複雑部位」「狭所」に併用してご使用ください。

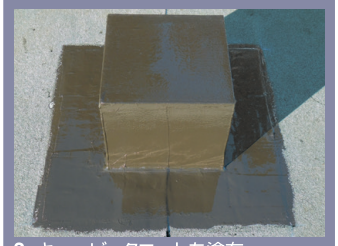
特徴

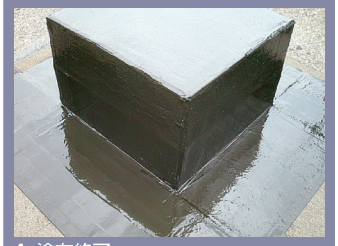
- 1液タイプなので扱いが容易です。
- 無溶剤型で臭いもありません。
- 塗膜の伸びが大きいので、下地の挙動にも追従します。

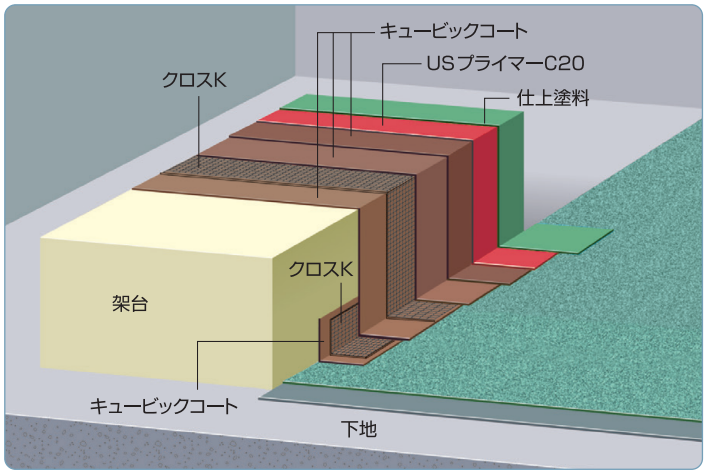
作業手順

1. キュービックコート


2. クロスKの張り付け


3. キュービックコートを塗布


4. 塗布終了



備考

- 開缶後放置すると、表面に皮膜が張りますので、使用後は密閉してください。
- 表面に皮膜が張った場合は、皮膜を取り除いて使用してください。

標準仕上塗料(遮熱)

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m²	0.5kg/m²	0.8kg/m²	0.5kg/m²
塗替の目安	7~9年	7~9年	10~13年	10~13年

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロッコート※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8~2.0kg/m²
塗替の目安	7~9年

■弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

勾配屋根

露出仕様　密着工法（ズレ止めディスク併用）

EKC-110

単層密着工法

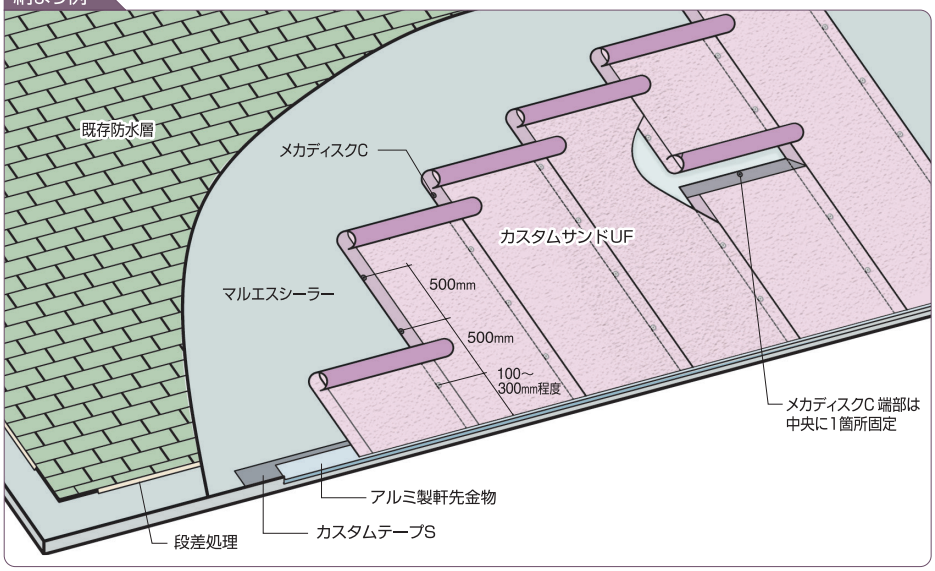
下地	RC·PC	
重量	5.7kg／m²	
厚み	4.0mm	
工程	勾配面	立上り
1	カスタムプライマーE 0.2kg／m²	カスタムプライマーE 0.2kg／m²
2	カスタムサンドUF（ズレ止め処理）	カスタムサンドUF
3	仕上塗料	仕上塗料

EKA-110

単層密着工法

下地	アスファルトシングル又は露出アスファルト防水層	
重量	6.5kg／m²	
厚み	4.0mm	
工程	勾配面	立上り
1	マルエスシーラー※ 1.0kg／m²	カスタムプライマーE 0.2kg／m²
2	カスタムサンドUF（ズレ止め処理）	カスタムサンドUF
3	仕上塗料	仕上塗料

納まり例



既存が断熱仕様の場合

●断熱下地の場合は、最寄の営業所へご相談ください。

マルエスシーラー塗布量

※ 下地の状態によって塗布量は、右記の範囲内とします。 塗布量：0.8kg／m²～1.2kg／m²

標準仕上塗料（遮熱）

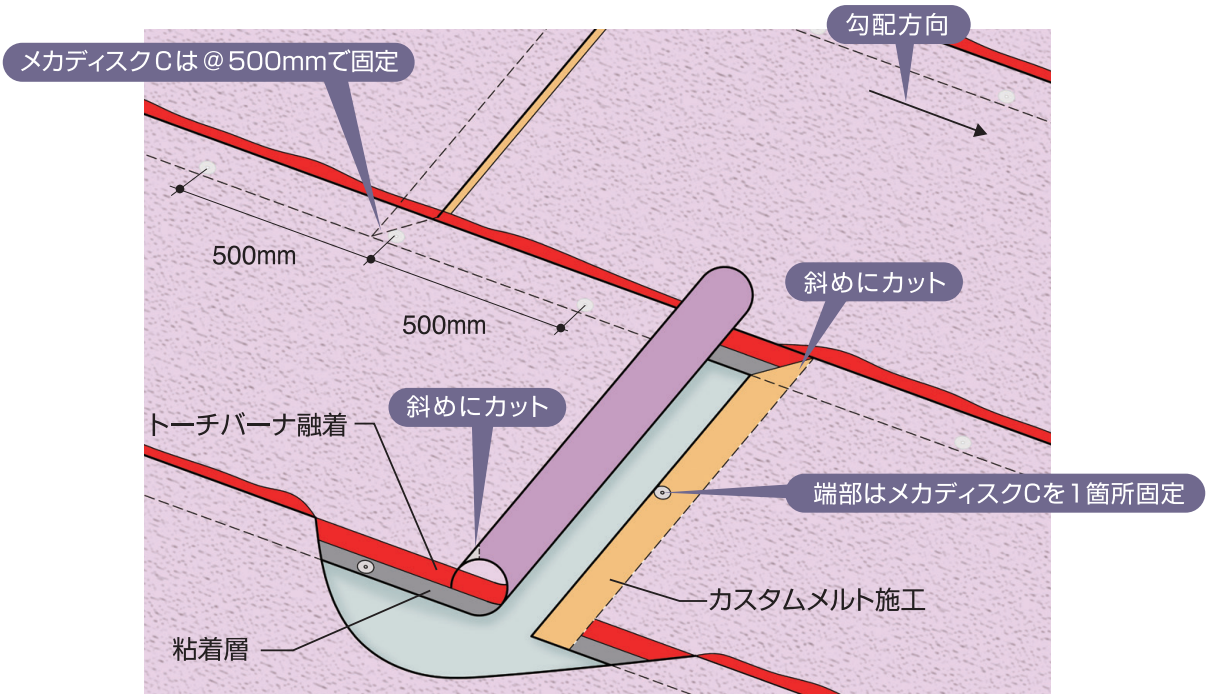
製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
記　号	NZ	MB	FP	H
種　類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg／m²	0.5kg／m²	0.8kg／m²	0.5kg／m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

飛び火対応用仕上塗料

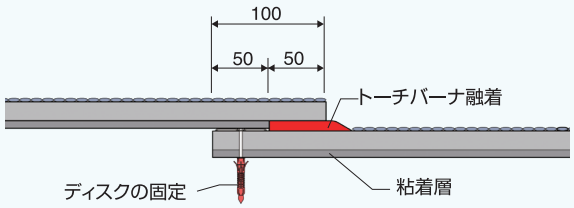
製品名	ロッコート※
記　号	R
種　類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg／m²
塗替の目安	7～9年

■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

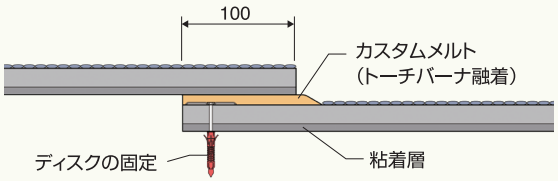
ズレ止め処理と接合部施工方法（カスタムサンドUFの場合）



サイドラップの処理断面図



エンドラップの処理断面図



注意事項

- 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- 下地の状況によっては、下地処理（AQシーラー）を行ってください。
- 立上り防水層は、原則として撤去します。

公共建築工事・改修工事標準仕様書

令和４年版　公共建築工事・改修工事標準仕様書 対応仕様

屋根露出防水

Ⓝは、公共建築工事標準仕様書に規定する仕様です。　Ⓡは、公共建築改修工事標準仕様書に規定する仕様です。

AS-J1 常温粘着絶縁工法 Ⓝ Ⓡ

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名 平場	適応製品名 立上り
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	カスタムプライマーE	
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用Ｒ種 1.5mm以上)	—	EEルーフBS	EEルーフBF
3	粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用R種 2.0mm以上)	—	カスタムサンドAF	
4	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り	

AS-J2 常温粘着密着工法 Ⓡ

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名 平場	適応製品名 立上り
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	カスタムプライマーE	
2	改質アスファルトシート (露出単層防水用R種 3.0mm以上)	—	カスタムサンド UF	
3	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り	
4	—	—	—	

AS-J3（単層） 常温粘着絶縁工法 Ⓡ

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名 平場	適応製品名 立上り
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	カスタムプライマー E	
2	部分接着用シート	—	—	
3	粘着層付改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、3.0mm以上)	—	カスタムサンド F	カスタムサンド UF
4	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り	

AS-J3（複層） 常温粘着絶縁工法 Ⓡ

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名 平場	適応製品名 立上り
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	カスタムプライマー E	
2	部分接着用シート	—	EEルーフBS	—
3	粘着層付改質アスファルトシート (露出単層防水用Ｒ種、3.0mm以上)	—	カスタムサンドUF	
4	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り	

ASI-J1 常温粘着絶縁断熱工法 Ⓝ Ⓡ

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名 平場	適応製品名 立上り
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	USプライマーC1	カスタムプライマーE
2	断熱材張付け	—	シェーンボード USボンドA　0.8kg	–
3	部分粘着層付改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種 1.5mm以上）	—	EEルーフBS	EEルーフBF
4	粘着層付改質アスファルトシート（露出複層防水用R種 2.0mm以上）	—	カスタムサンドAF	カスタムサンドAF
5	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り	仕上塗料塗り

同等仕様一覧

仕様記号	新 築	改 修 P0	改 修 M3	改 修 M4
		P（既存保護アス）	M（既存露出アス）	
		0（保護・防水非撤去）	3（既存防水撤去）	4（既存防水非撤去）
AS-J1	ESC-121	ESC-121	ESC-121	—
AS-J2	—	—	—	ESA-110
AS-J3	—	ESC-111・121F	ESC-121F	—
ASI-J1※	ESC-221	ESC-221	ESC-221	ESA-221

※同等とする場合は、プライマー処理が別途必要となります。

共通事項

1. ALCパネル下地の場合は、工程1のプライマーの使用量を(　)内とする。
2. 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
3. AS-J1の立上り部は、工程2を粘着層付改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種、1.5mm以上 → EEルーフBF)とする。
4. AS-J2において、下地が既存アスファルト系防水層の場合は、工程1を省略する。(既存が砂付の場合は、マルエスシーラーを使用する)
5. AS-J3は、POAS工法の場合のみとする。
6. POAS工法の場合で、プライマーの吸い込みが著しく、工程1の使用量で不足する場合は、監督職員と協議する。
7. AS-J3の工程3を部分粘着層付改質アスファルトシート(露出単層防水用R種、3.0mm以上→カスタムサンドF)とする場合は工程2を省略し、立上り部は粘着層付改質アスファルトシート(露出単層防水用R種、3.0mm以上→カスタムサンドUF)とする。
8. AS-J3の立上り部は、部分接着用シートを省略する。
9. ASI-J1において、下地の状態によっては、USプライマーC1に替えてUSプライマーC10(0.2kg/m²)を使用することもできます。
10. ASI-J1において、防湿用シートの設置は、特記による。
11. ASI-J1において、工程2の断熱材張付けは、改質アスファルトシート製造所の仕様による。
12. ASI-J1の立上り部は、工程1をカスタムプライマーE(0.2kg/m²)とする。
13. ASI-J1の立上り部は、工程3を粘着層付改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種、1.5mm以上 → EEルーフBF)とする。
14. ASI-J1において、下地が既存アスファルト系防水層の場合は、工程1を省略する。下地調整材としてマルエスシーラーを塗布する場合は、工程2の接着剤をUSボンドAに替えてUSボンド(0.5kg/m²)としてください。
15. 脱気装置の種類及び設置数量は、特記による。特記がなければ、ニューステンレスベントを50～100m²に1個設置してください。
16. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、改質アスファルトシートの製造所の仕様による。(p.6「標準仕上塗料」をご参照ください)

（一社）日本建築学会 JASS 8 仕様書

日本建築学会 JASS 8 常温粘着防水工法 対応仕様

密着保護仕様

AS-PF 平場（RC・PCa下地）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	カスタムプライマーE
2	全面粘着層付改質アスファルトシート（非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上）張付け	—	EEルーフBF
3	全面粘着層付改質アスファルトシート（非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上）張付け	—	EEルーフBF

AS-PF 立上り（RC下地）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	カスタムプライマーE
2	全面粘着層付改質アスファルトシート（非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上）張付け	—	EEルーフBF
3	全面粘着層付改質アスファルトシート（非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上）張付け	—	EEルーフBF

注意
※1. 平場の保護層として現場打ちコンクリートを用いる場合、その下地は現場打ち鉄筋コンクリート下地のみに適用する。
※2. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
※3. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部には、工程2に先立ち、増張り用シートにより絶縁増張りを施す。
※4. 断熱材の種類および厚さは特記による。張付け方法は防水材製造所の指定による。
※5. 保護層の上に植栽を施す場合は、保護層の現場打ちコンクリートの施工に先立ち、耐根シートを敷設する。
※6. 保護層を砂利とする場合は、特記による。
※7. 保護層としてモルタルを用いる場合は室内のみとする。
※8. 立上りの仕上げ層を仕上塗料またはなしとする場合は、特記による。その場合、平場の工程3の改質アスファルトシートは入隅で張り止めて、改質アスファルトシート（露出複層防水用）を200mm張りかけてから、立上りを張り付ける。

絶縁露出仕様

AS-MS 平場（RC・PCa・ALC下地）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	カスタムプライマーE
2	部分粘着層付改質アスファルトシート（非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上）張付け	—	EEルーフBS
3	全面粘着層付改質アスファルトシート（露出複層防水用、 厚さ2.0mm以上）張付け	—	カスタムサンドAF

AS-MS 立上り（RC下地）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	カスタムプライマーE
2	全面粘着層付改質アスファルトシート（非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上）張付け	—	EEルーフBF
3	全面粘着層付改質アスファルトシート（露出複層防水用、 厚さ2.0mm以上）張付け	—	カスタムサンドAF

注意
※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は 特記による。
※2. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部およびALCパネル短辺の接合部には、断熱材の張付けに先立ち絶縁テープ（幅50mm程度）を張り付ける。
※3. ALCパネル下地の場合のプライマーの使用量は 0.4kg／m²とする。
※4. 脱気装置を設置する。その位置、種類および個数は特記による。
※5. 仕上塗料の種類と塗布量は特記による。

断熱露出仕様

AS-MT 平場（RC・PCa・ALC下地）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	USプライマーC1
2	断熱材張付け	—	シェーンボード USボンドA 0.8kg
3	部分粘着層付改質アスファルトシート（非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上）張付け	—	EEルーフBS
4	全面粘着層付改質アスファルトシート（露出複層防水用、厚さ2.0mm以上）張付け	—	カスタムサンドAF

AS-MT 立上り（RC下地）

工程	材 料	使用量 (kg/m²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	カスタムプライマーE
2	全面粘着層付改質アスファルトシート（非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上）張付け	—	EEルーフBF
3	全面粘着層付改質アスファルトシート（露出複層防水用、 厚さ2.0mm以上）張付け	—	カスタムサンドAF
4	—	—	—

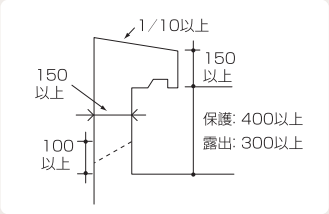
注意
※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は 特記による。
※2. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部およびALCパネル短辺の接合部には、断熱材の張付けに先立ち絶縁テープ（幅50mm程度）を張り付ける。
※3. ALCパネル下地の場合のプライマーの使用量は0.4kg／m²とする。
※4. 断熱材の種類と厚さは特記による。張付け方法は防水材製造所の仕様による。
※5.「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法に係る事項」（平成28年国土交通省告示第265号.最終改正 令和元年11月15日国土交通省告示第783号）の別表第10に定められた地域1～地域4においては、工程2「断熱材張付け」に先立ち防湿層を設置する。防湿層の種類は特記がない場合は、防湿用シートとする。
※6. 脱気装置を設置する場合は、その位置、種類および個数は特記による。
※7. 仕上塗料の種類と塗布量は、特記による。

防水下地のチェックポイント

新築工事 チェックポイント

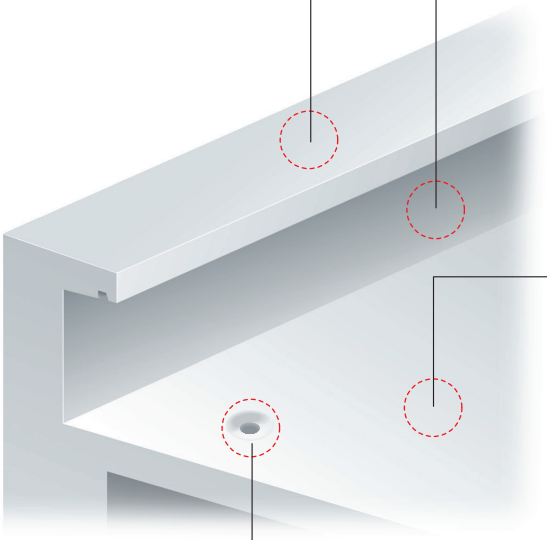
パラペット

- スラブと同時打設を原則とします。打継ぐ場合は、パラペットに接するスラブの水上天端から100mm以上とし、打継面は外勾配とします。
- 立上り厚とアゴの見付厚は150mm以上としダブル配筋とします。
- パラペット天端は1/10以上の水勾配を付けます。
- アゴのある場合は、水上でもスラブ面からアゴ下までを保護工法では400mm以上、露出工法では300mm以上を推奨します。(アゴの無い場合は、内側パラペット高さ)



勾　配

- 必ず躯体でとります。
- 勾配は1/100～1/20とし、工法により異なります。



立上り

- 立上り面は、コンクリート打放し仕上げを原則とし平滑な面に仕上げます。
- アゴを設ける場合、アゴは躯体と一体打ちとしアゴ上面と躯体が剥離しないようにします。

平　場

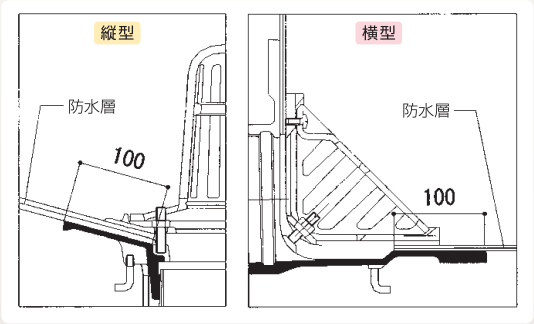
- 表面にはレイタンス･ジャンカ等の凹凸がないよう平滑な面とします。
- コンクリート下地においては金ゴテ仕上げとします。
- 下地は十分に乾燥させます。

排　水

- ルーフドレンの排水分担面積は十分に余裕をもたせます。
- 本体受皿はスラブより30～50mm程度下げます。
- 設置位置はパラペットより300mm以上離して取付けます。

ルーフドレン

- 防水層施工張り代　100mm



現場打コンクリートの場合のチェックポイント

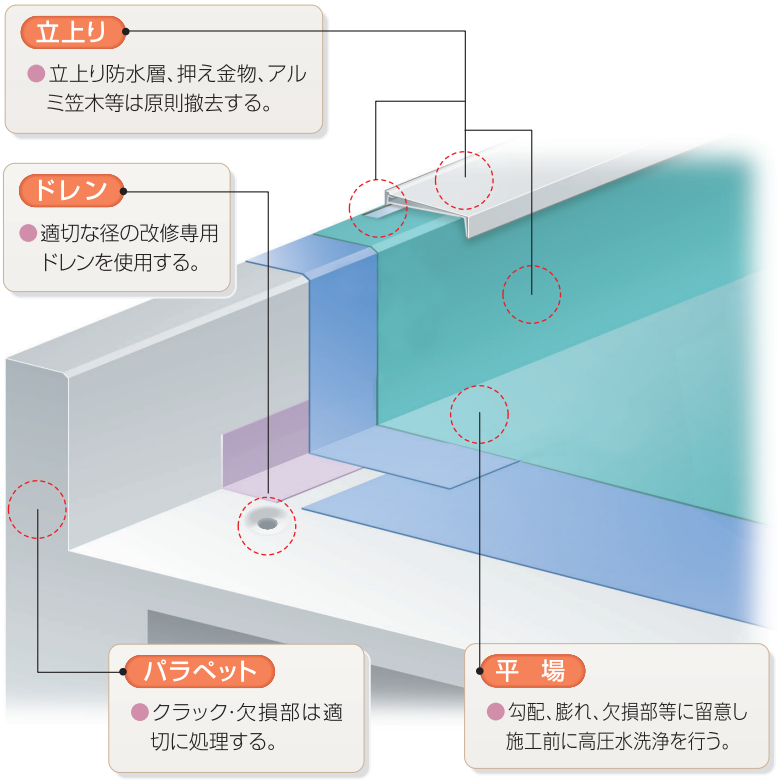
1. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。
2. 表面は平滑になっているか。
3. ジャンカ等の不良部分及び突起物がないか。
   レイタンス等の脆弱部分がないか。
4. 出入隅部分の形状は規定通りになっているか。
   入隅部は直角とする。
   出隅部は小面取りとする。
5. ルーフドレンの種別は防水工法にあっているか。
6. ルーフドレンの取付け位置は適切か。
7. 下地の乾燥は十分か。

PC・ALC等のパネル類の場合のチェックポイント

1. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。
2. 継ぎ手部分に段差が生じていないか。
3. 継ぎ手目地部分の充てんモルタルが浮いていないか。
4. パネル類に欠損部がないか。
   取付けボルト等が突出していないか。
5. パネル類は梁･母屋等に堅固に固定されているか。
6. パネル類の表面に離型材等の油脂類が付着していないか。
7. パネル類の表面に脆弱部分がないか。
8. 出入隅部分の形状は規定通りになっているか。
   入隅部は直角とする。
   出隅部は小面取りとする。
9. ルーフドレンの種別は防水工法にあっているか。
10. ルーフドレンの取付け位置は適切か。
11. 下地の乾燥は十分か。

改修工事 チェックポイント

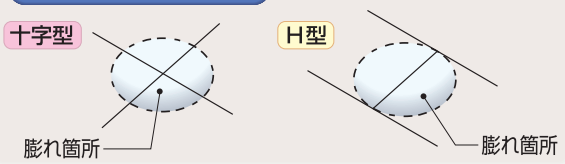
露出防水層の場合



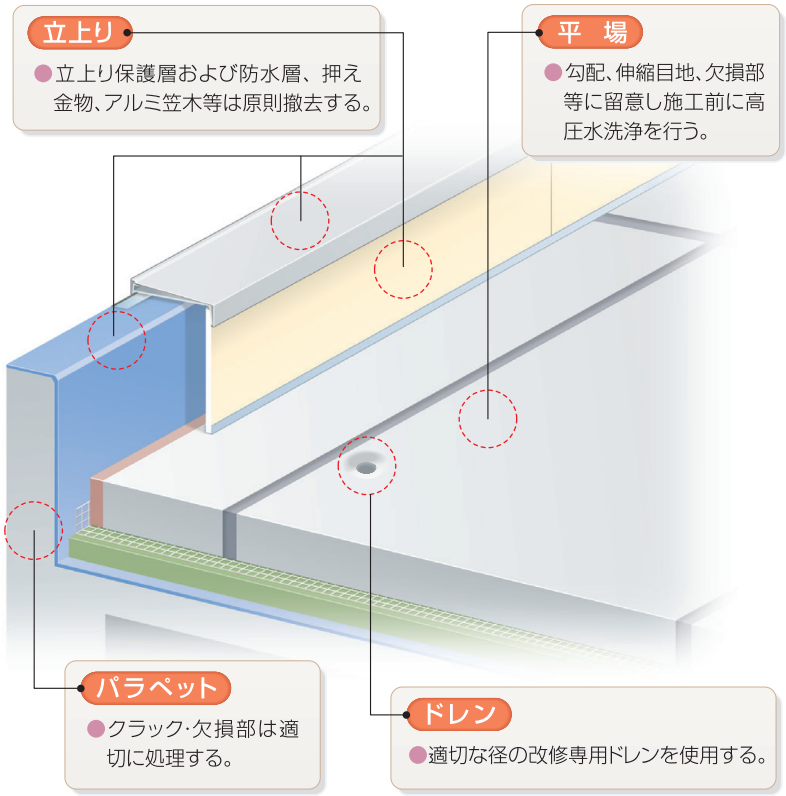
下地が露出防水層の場合のチェックポイント

1. 既存防水層に雨漏りはないか。
   →雨漏りしている場合は、なるべく撤去工法を選択してください。
2. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。
   →適切な下地調整を行ってください。
3. 高圧水洗浄等で、ホコリや汚れは除去されているか。
4. 膨れ部分の処理は適切か。（下図参照）
5. 防水層欠損部の処理は適切か。
6. ドレンや排水溝回り等の植物の除去は行っているか。
7. パラペットのクラック･欠損部の処理は適切か。
8. 改修用ドレンは専用ドレンが使用されているか。（鉛ドレン･銅ドレン）
9. 立上り部の防水層の処置は適切か。（原則として、撤去します）

膨れ部分の切開方法



保護防水層の場合



下地が保護防水層の場合のチェックポイント

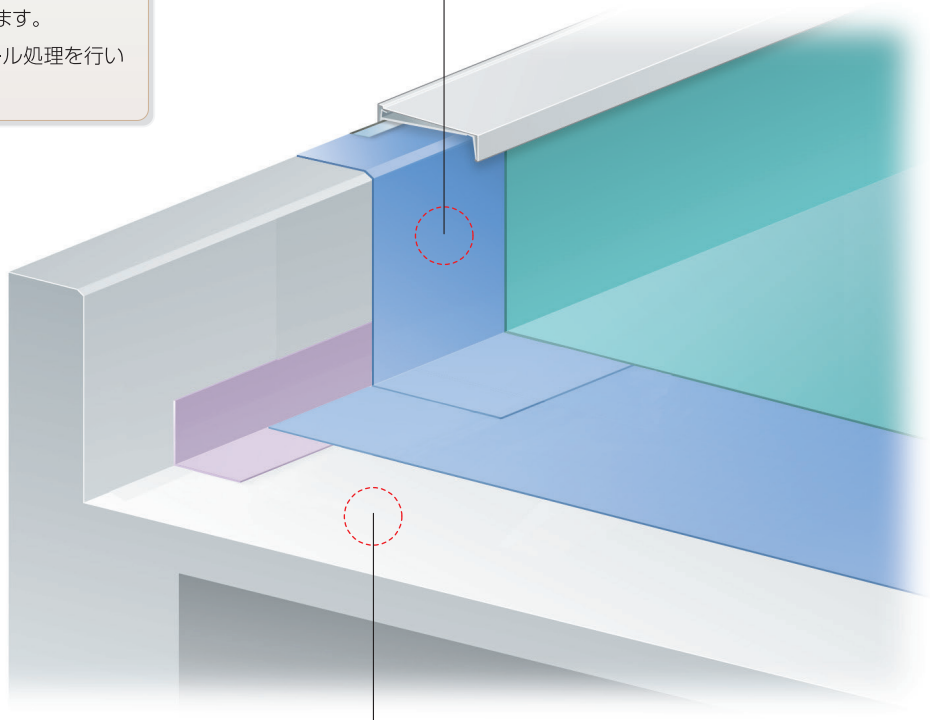
1. 既存防水層に雨漏りはないか。
   →雨漏りしている場合は、なるべく撤去工法を選択してください。
2. 新規防水層は絶縁工法が採用されているか。
3. 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。
   →適切な下地調整を行ってください。
4. 高圧水洗浄等で、ホコリや汚れは除去されているか。
5. 適切な下地調整が行われているか。
6. 伸縮目地の処理は適切か。（撤去してメジテープ等で処理）
7. ドレンや排水溝回り、伸縮目地等の植物の除去は行っているか。
8. 平場及びパラペットのクラック･欠損部の処理は適切か。
9. 改修用ドレンは専用ドレンが使用されているか。（鉛ドレン･銅ドレン）
10. 立上り部の防水層の処理は適切か。（原則として、保護層および防水層は撤去します）

施工管理のチェックポイント

露出仕様 チェックポイント

立上り

- 立上りの高さは水上でも仕上げ面から200mm以上とします。
- 防水層の端末は、シール処理を行います。

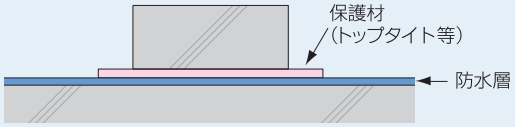


平　場

- 下地は十分に乾燥させます。絶縁工法の場合は膨れ発生防止のため、脱気筒（ニューステンレスベント）を50～100m²に1個設置します。

設備等基礎類の設置

- 直接基礎類を設置すると防水層が損傷しますので躯体から立上げるようにします。
- 防水層の上にやむを得ず設置する際には集中荷重にならないよう基礎の設置面積を大きくし、保護材を設けて設置します。



チェックポイント

1. プライマー・接着剤等は十分に撹拌して使用しているか。
2. プライマーは規定量を全面にムラなく塗布しているか。
3. 塗布したプライマーは十分に乾燥しているか。
4. 断熱材を施工する場合、接着剤は規定通りに塗布しているか。
5. 出入隅及び出入隅角部に、規定の増張りをしているか。
6. ドレン、パイプ回り等に、規定の増張りをしているか。
7. ルーフィング接合部を、逆張りにしていないか。
8. ルーフィング接合部の重ね幅は規定通りになっているか。
9. 張り付けたルーフィングに「しわ・膨れ」等が生じていないか。
10. ルーフィングの下に小石などの異物がないか。
11. 立上りは規定の高さまで施工しているか。
12. 張り仕舞処理は規定通りになっているか。
13. 仕上塗料は規定量を全面にムラなく塗布しているか。

保護仕様 チェックポイント

立上り保護

- 立上りは一般的に乾式保護材を使用します。
- 防水層の端末は、シール処理を行います。

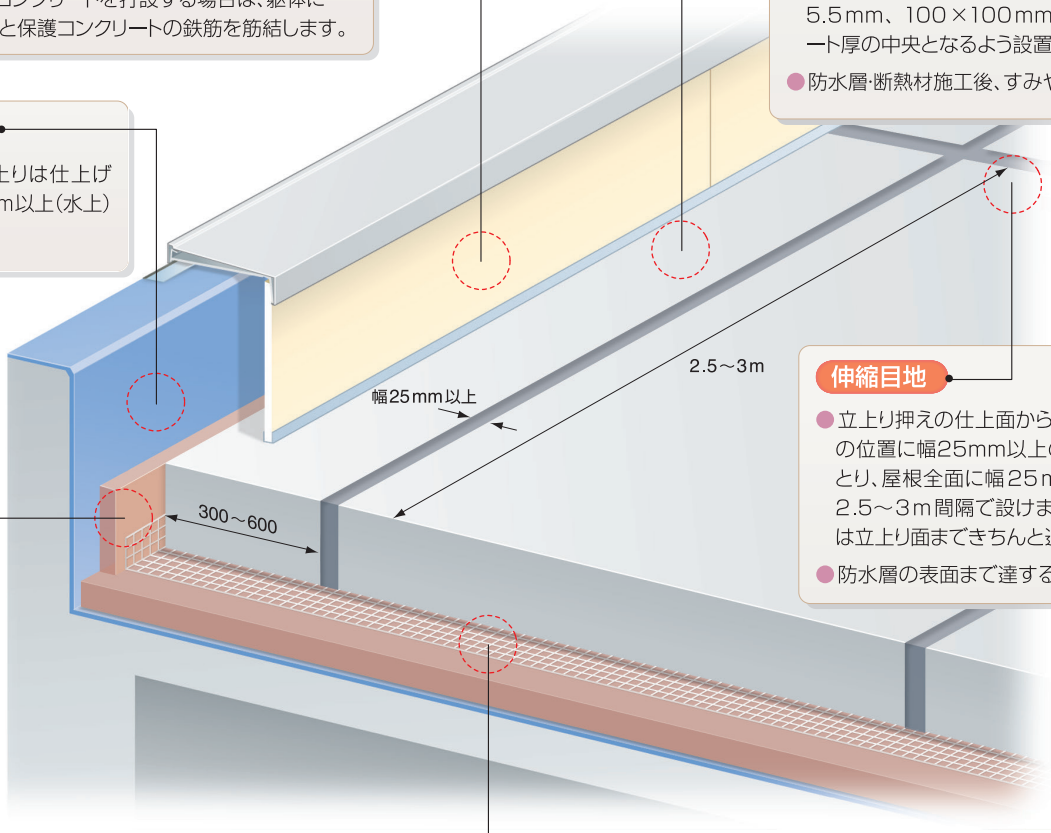
※立上りに保護コンクリートを打設する場合は、躯体に仕込んだ鉄筋と保護コンクリートの鉄筋を筋結します。

保護コンクリート

- 普通コンクリートとし、コンクリートの厚みは一般的に80mm以上です。
- ひび割れ防止のため、溶接金網（φ3.2～5.5mm、100×100mm程度）をコンクリート厚の中央となるよう設置します。
- 防水層･断熱材施工後、すみやかに打設します。

立上り高さ

- 防水層の立上りは仕上げ面から200mm以上（水上）とします。



伸縮目地

- 立上り押えの仕上面から300～600mmの位置に幅25mm以上のボーダー目地をとり、屋根全面に幅25mm以上の目地を2.5～3m間隔で設けます。また、各目地は立上り面まできちんと通します。
- 防水層の表面まで達するように施工します。

立上り際

- 必ず成形緩衝材を設けます（パラクッション･パラキャント等）

押え層と防水層の絶縁

- 押え層の動きによる防水層や断熱材の損傷を軽減するため、PTクロスを施工します。

チェックポイント

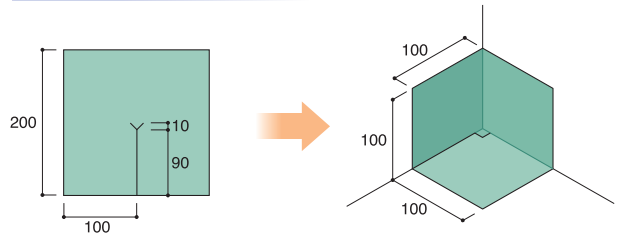
1. プライマー･接着剤等は十分に撹拌して使用しているか。
2. プライマーは規定量を全面にムラなく塗布しているか。
3. 塗布したプライマーは十分に乾燥しているか。
4. 出入隅及び出入隅角部に、規定の増張りをしているか。
5. ドレン、パイプ回り等に、規定の増張りをしているか。
6. ルーフィングの接合部を、逆張りにしていないか。
7. ルーフィング接合部の重ね幅は、規定通りになっているか。
8. 張り付けたルーフィングに「しわ・膨れ」等が生じていないか。
9. ルーフィングの下に小石などの異物がないか。
10. 立上りは規定の高さまで施工しているか。
11. 張り仕舞処理は、規定通りになっているか。
12. 断熱材を施工する場合、接着剤は規定通りに塗布しているか。
13. 絶縁用シートは規定通りになっているか。
14. 立上り際に成形緩衝材を施工しているか。

出入隅角部・ALCパネル・パイプ

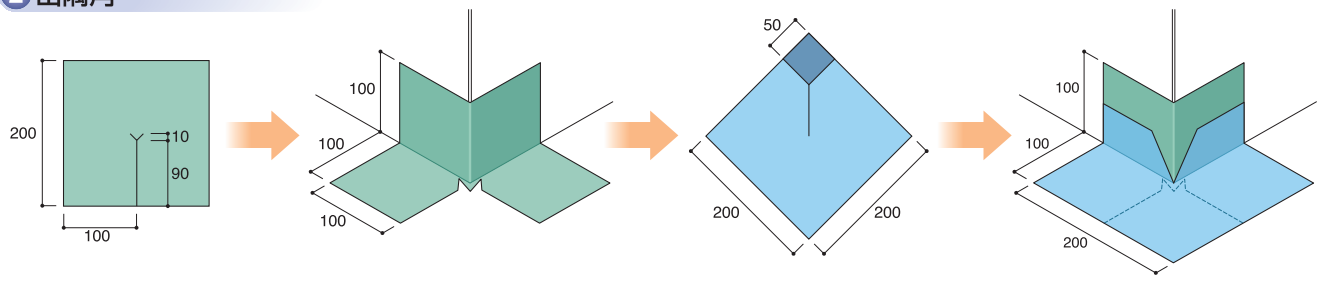
出入隅角・ドレン部等の施工部位には、EEルーフBFを使用します。増張りの処理は、下地面を十分に加熱後、剥離フィルムを剥がした後、ルーフィング裏面をトーチバーナーを併用して施工します。

出入隅角部

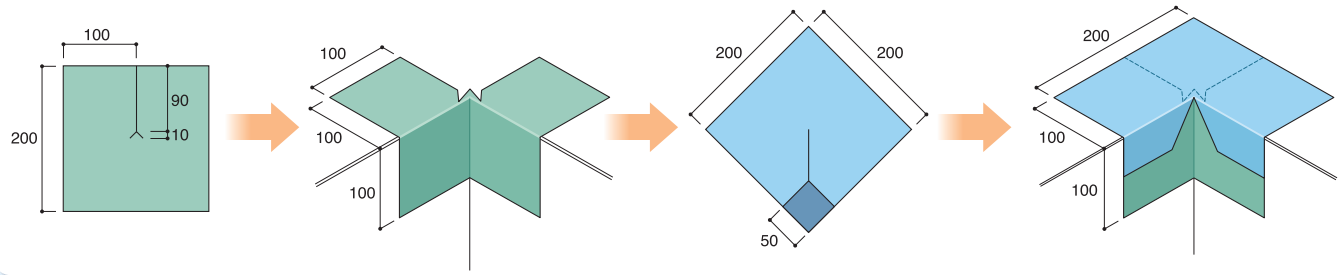
❶入隅角



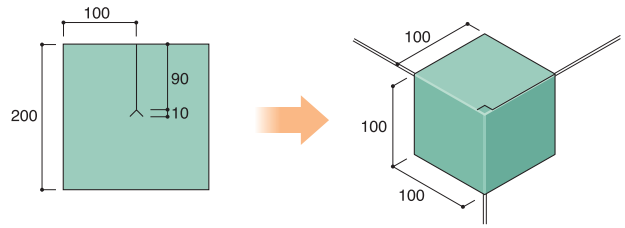
❷出隅角



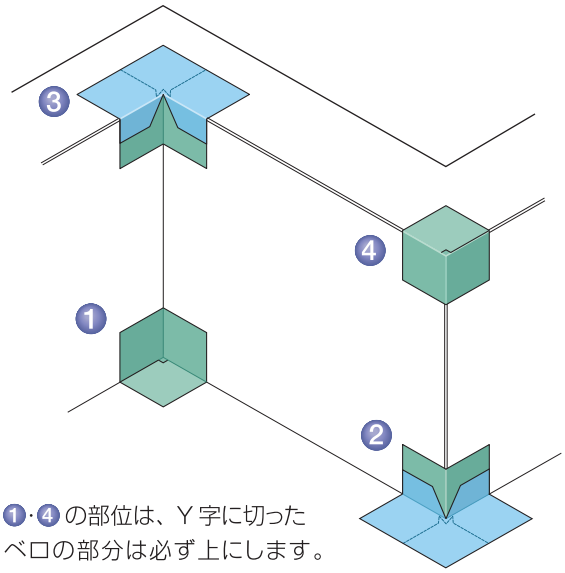
❸天端入隅角



❹天端出隅角



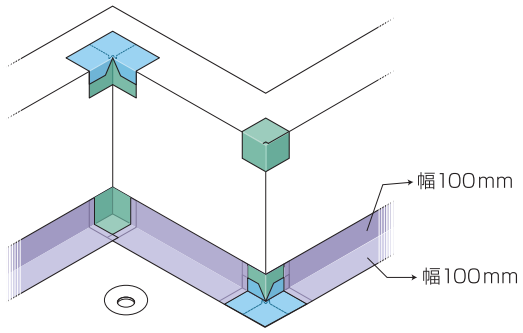
まとめ



❶・❹の部位は、Y字に切ったベロの部分は必ず上にします。

回り施工方法

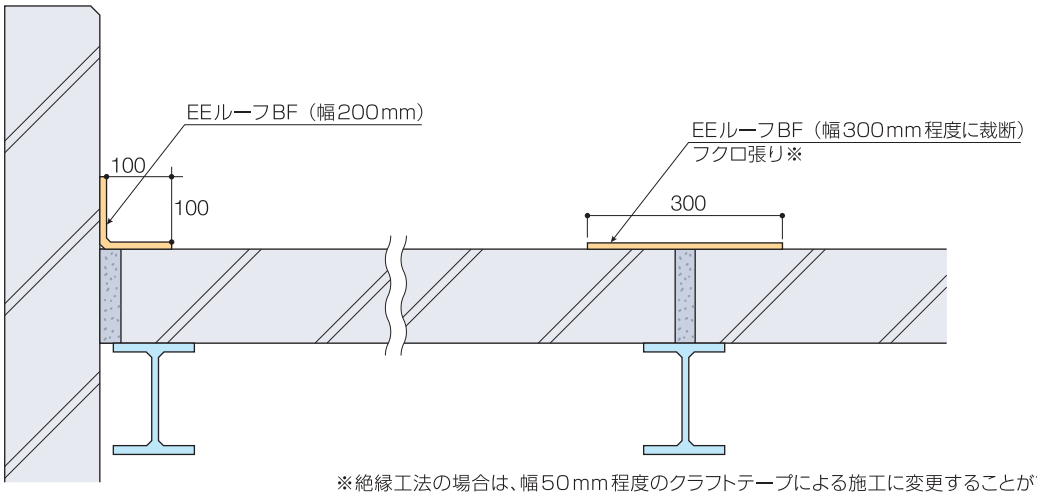
入隅部の施工（平場・立上り部）



❶ EEルーフBFを200mm幅にカットしたものを剥離フィルムを剥がした後、入隅部にトーチバーナーを併用して、平場・立上りに均等に振り分けて十分に圧着しながら施工します。

❷ ステッチャー等を用いて、入隅部が直角となるように施工します。

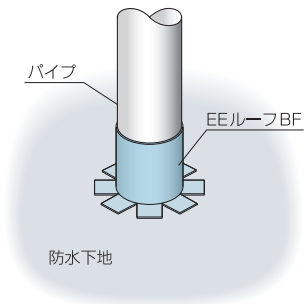
ALCパネル下地の増張り



※絶縁工法の場合は、幅50mm程度のクラフトテープによる施工に変更することができます。

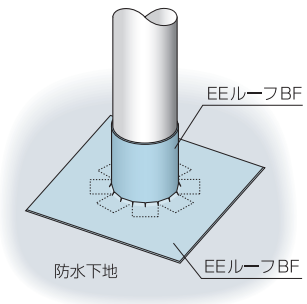
パイプ回りの施工

❶



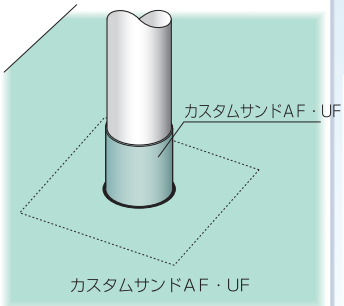
EEルーフBFをパイプ回りと平場に「タコ足」状に張り付けます。

❷



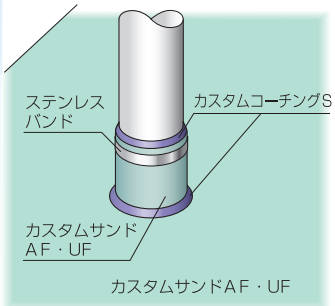
EEルーフBFを角形に裁断し、パイプの径より小さい穴をあけて張り付けます。

❸



パイプ回りにカスタムサンドAF※・UFを鉢巻状に張り付けます。

❹



継目及び端末部にカスタムコーチングSを塗り付け端部をステンレスバンド等で固定します。

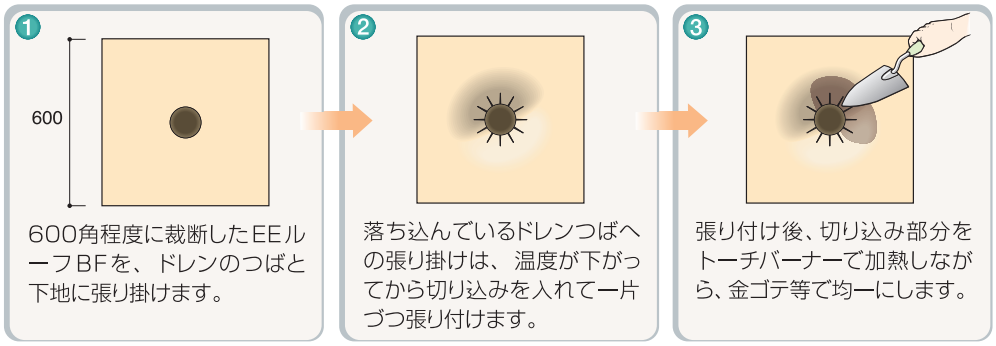
※カスタムサンドAFを施工する場合は「工程②」の後、EEルーフ類を施工した後「工程③」を行います。

ドレン部の施工及びルーフィングの張

ドレン部の施工

① 新築工事の場合

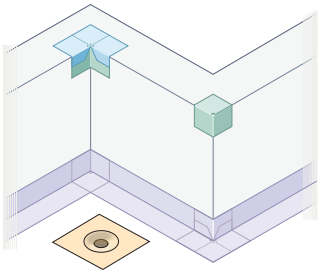
- ドレン回りの増張りには、EEルーフBFを裁断して使用します。 増張り処理後、 冷却時間を置いてから本防水の施工に入ります。
- ドレンのつば及びその周囲をトーチバーナーを併用して施工します。
- カットしたEEルーフBFにもトーチバーナーを併用して施工します。



600角程度に裁断したEEルーフBFを、ドレンのつばと下地に張り掛けます。

落ち込んでいるドレンつばへの張り掛けは、温度が下がってから切り込みを入れて一片づつ張り付けます。

張り付け後、切り込み部分をトーチバーナーで加熱しながら、金ゴテ等で均一にします。

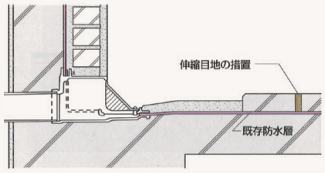


※カスタムメルトを併用することでより高い水密性を得ることが　できます。(p.41参照)

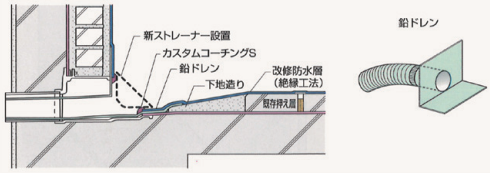
② 改修工事の場合

- 改修用鉛ドレンは主に保護コンクリート下地で使用しますが、既存が露出防水の場合でも既設ドレンの状況に応じて使用する場合があります。採用する際は、ドレンの排水能力をご確認の上、設置してください。

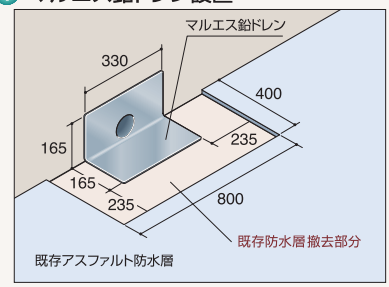
■改修前



■改修後

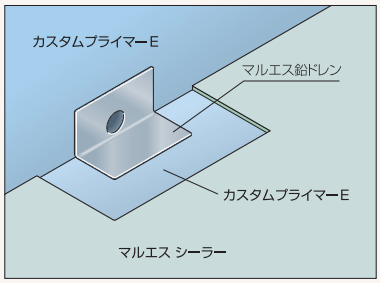


① マルエス鉛ドレン設置



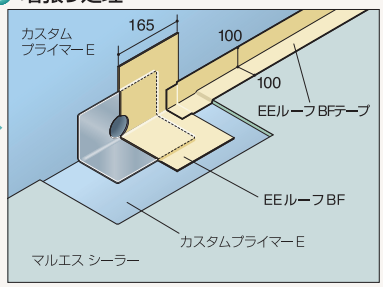
■ドレン回りの防水層を400×800mm程度に撤去します。(立上りは全撤去)
■ドレン部に木槌等を用いて、マルエス鉛ドレンを設置します。

② プライマー類 塗布



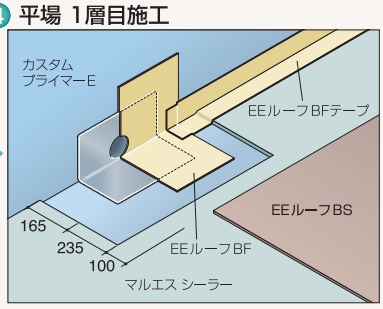
■既存アスファルト防水部にはマルエスシーラーを、撤去部にはカスタムプライマーEを規定量塗布します。

③ 増張り処理



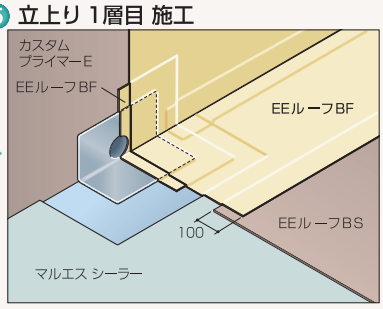
■入隅部にはEEルーフBFテープ等を用いて、平場 ・ 立上りに均等に100mmづつ張り掛けます。

④ 平場 1層目施工



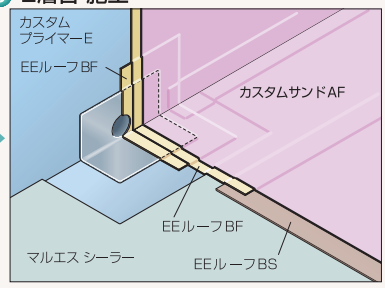
■入隅より500mm程度離した位置から　EEルーフBSを張り付けます。

⑤ 立上り 1層目 施工



■平場に張り付けたEEルーフBSに100mm以上張り掛かるように、EEルーフBFを張り付けます。

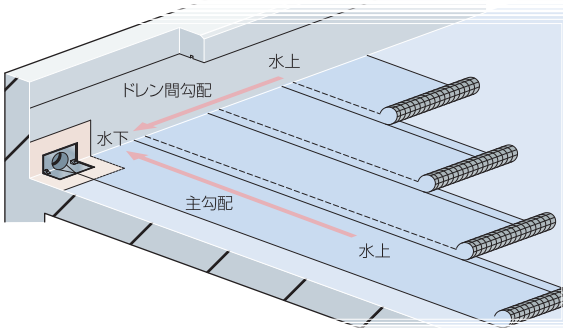
⑥ 2層目 施工



■剥離フィルムを剥がしカスタムサンド類を張り付けます。
■張り付け完了後、端部にカスタムコーチングS等を用いてシール処理します。

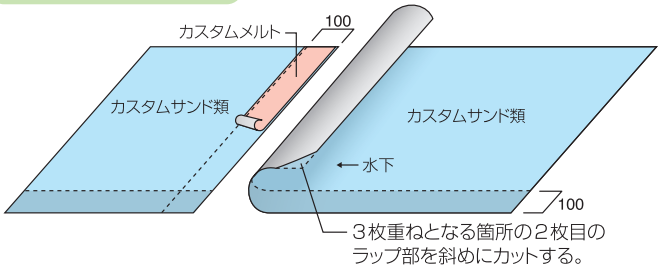
ルーフィングの張り付け方法

①一般部



- ルーフィングは幅方向は水下から水上へ、長手方向は 勾配に垂直となるよう張り付けます。
- 必ず仮敷きしたルーフィングを巻き戻し、位置決めを 行った後に、施工に入ります。
- 入隅部に突きつけるようにして、ルーフィングの剥離フィルムを剥がし、張り付けます。

防水シートの重ね方法



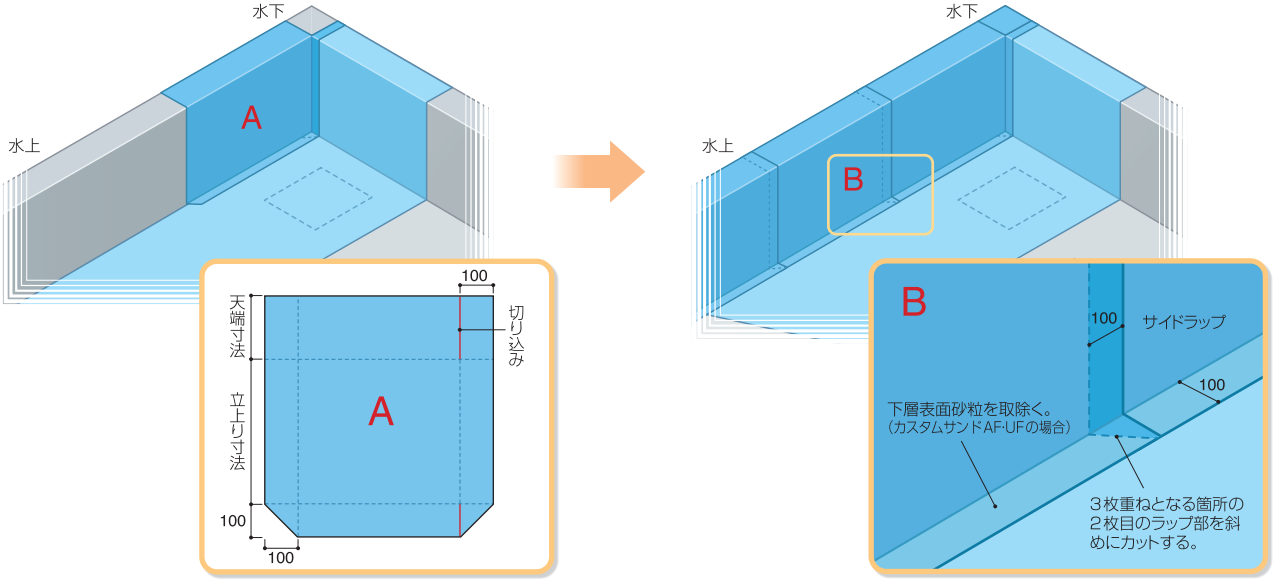
- ルーフィングの重ね幅は長手・幅方向共100mm以上とします。
- エンドラップはジョイント部に、カスタムメルトをアスファルトが若干はみでるように、ずらして張り、表面にトーチバーナーを用いてアスファルトを溶融させます。※

※カスタムメルトを使用せず、下層ルーフィングの表面砂をトーチバーナーで処理して施工することも可能です。

②立上り部

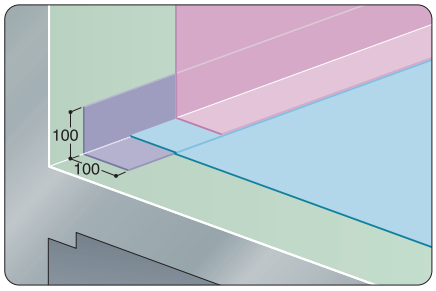
- 水下から水上に向かって立上りの施工をします。両勾配の場合は、棟で合わせます。

※立上りの高さが300mm以上の場合は平場と立上りのルーフィングを別張りとすることを推奨します。

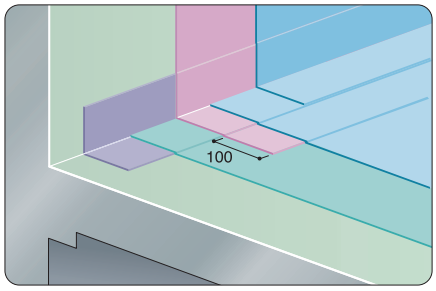


③ルーフィング 平場・立上りの張り合わせ例

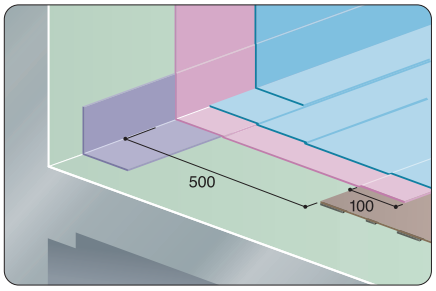
■単層張り工法(密着工法の場合)



■複層張り工法(密着工法の場合)



■複層張り工法(絶縁工法の場合)

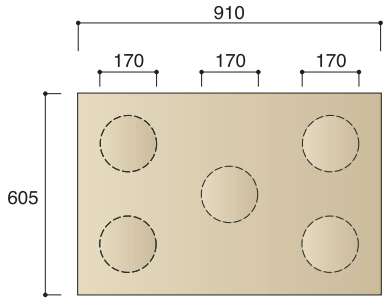


ルーフィング張り付け方法（断熱工法

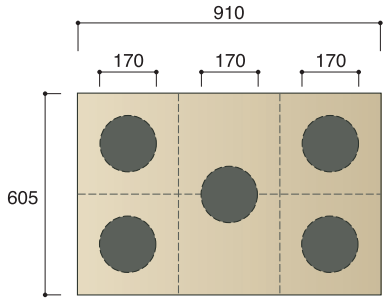
断熱材の張り方　USボンドA塗布

●シェーンボードを張り付けるUSボンドAは下図のように、皮スキ･コテ等を用いて5点塗布とし、踏圧によりよく圧着します。

表面イメージ

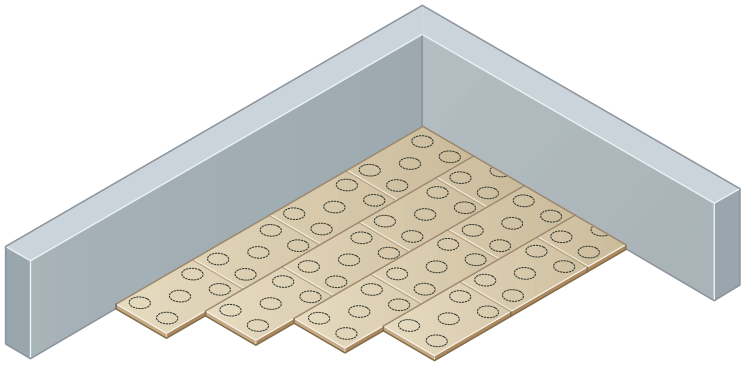


裏面イメージ



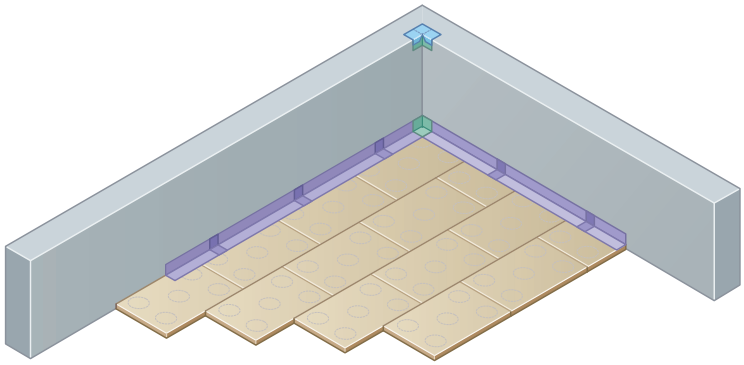
断熱材及びルーフィングの張り方

① 断熱材張り付け



●断熱材を入隅部から、千鳥張りとします。
●改修で被せ工法の場合で、入隅部が面取りしている場合は、新設シェーンボードの端部を斜めにカットします。
●下地の凹凸により、なじみの悪い場合はカッター等を用いて背割りを行います。

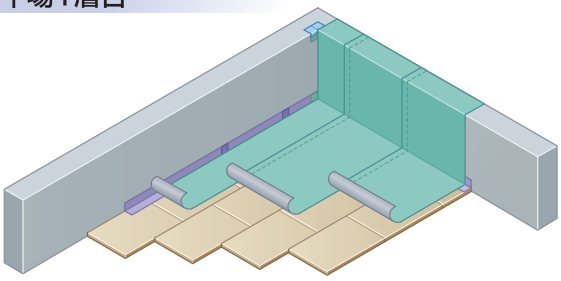
② コーナー部処理



●シェーンボード敷設後、入隅部及び出入隅角部にEEルーフBFテープ等を用いて、増張り処理します。
（詳細は前頁をご参照ください）

密着工法の場合

③平場1層目

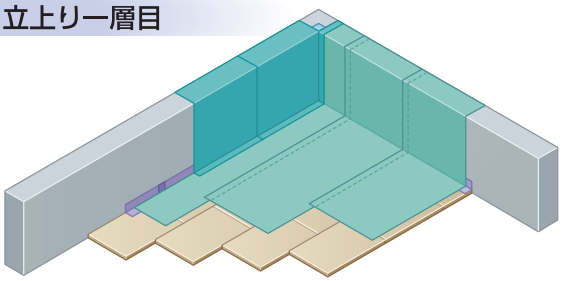


●EEルーフBFは入隅部に突き付けて剥離フィルムを剥がしながら、水下から水上に向かって、下地に張り付けます。尚、立上り部はトーチバーナーを併用しながら施工します。

※起点となる張り始めのEEルーフBFはルーフィングの半切品を用いて施工します。

●EEルーフBFを施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。

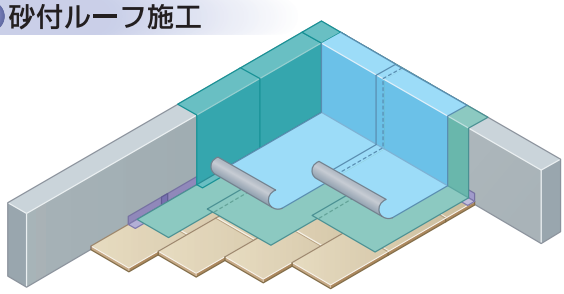
④立上り一層目



●妻側の立上りも同様に、EEルーフＢＦの剥離フィルムを剥がしながら、 水下から水上に向かって、下地に張り付けます。尚、立上り部はトーチバーナーを併用しながら施工します。

●EEルーフＢＦを施工する際は、 入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。

⑤砂付ルーフ施工



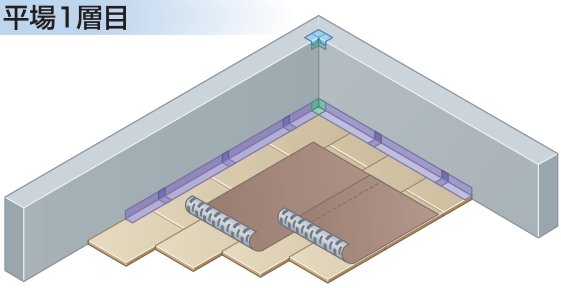
●カスタムサンド類は、剥離フィルムを剥がしながら、張り付けます。

●カスタムサンド類を施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。

※カスタムサンド類が下層EEルーフＢＦの張り位置と重ならないようにします。

絶縁工法の場合

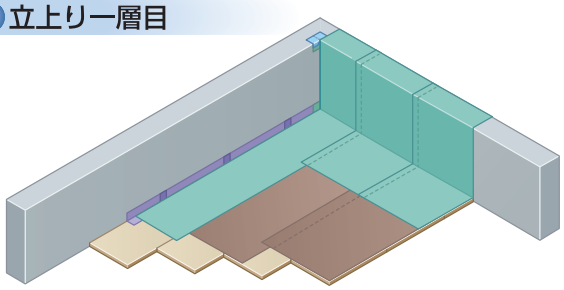
③平場1層目



●EEルーフＢＳは入隅部より500mm程度離した位置を起点として、剥離フィルムを剥がしながら、水下から水上に向かって、 下地に張り付けます。

●短辺ジョイントは突き付けて、EEルーフBF（200mm幅）を増張りするか、100mmジョイントを設けて、カスタムメルトをトーチバーナーを併用しながら、ジョイント重ね部を全面接着とします。

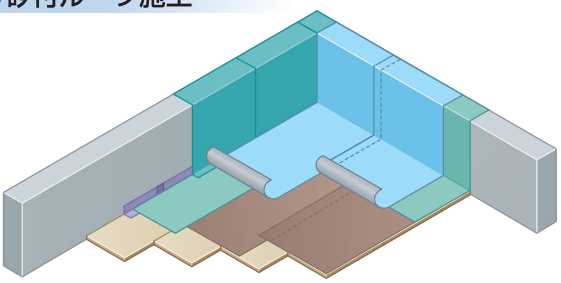
④立上り一層目



●立上りのEEルーフＢＦは平場のEEルーフＢＳに100mm以上ジョイントするように、剥離フィルムを剥がしながら、水下から水上に向かって、下地に張り付けます。尚、立上り部はトーチバーナーを併用しながら施工します。※起点となる張り始めのEEルーフＢＦはルーフィングを700mm程度に裁断したものを用いて施工します。

●EEルーフＢＦを施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。

⑤砂付ルーフ施工



●カスタムサンド類は、剥離フィルムを剥がしながら、張り付けます。

●カスタムサンド類を施工する際は、入隅部はステッチャー等を用いて十分圧着します。

※カスタムサンド類が下層EEルーフ類の張り位置と重ならないようにします。

※立上りの高さが300mm以上の場合は、平場と立上りのルーフィングを別張りとします。

防水層の耐風圧性について

屋根面における風圧力

風圧力の計算は、建築基準法施行令第82条の4、平成12年建設省告示第1454号及び第1458号で下記のように定められています。

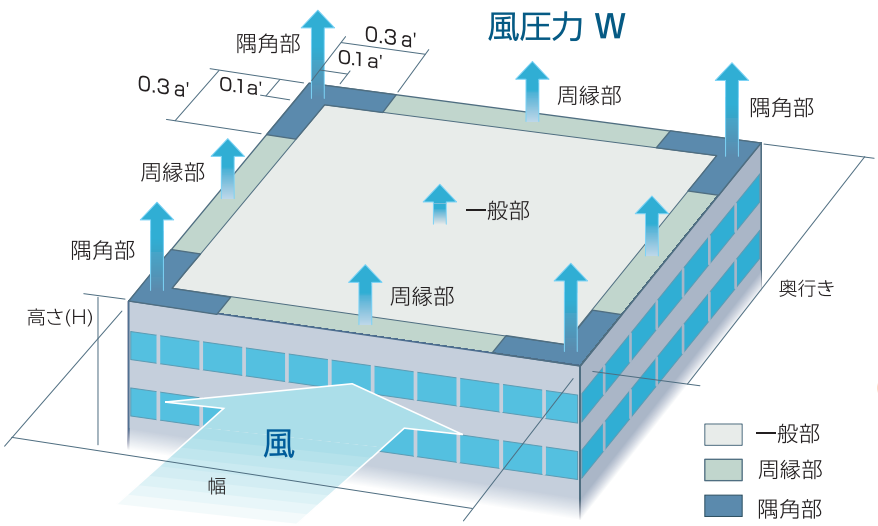
W（風圧力 N／m²）＝ q̄（速度圧 N／m²）× Ĉf（風力係数）

q̄（速度圧 N／m²）＝ 0.6 × Er² × Vo²

Er：平均速度の高さ方向の分布を表す係数

Vo：基準風速

●屋根ふき材用風荷重領域



a'：平面の短辺長さと高さの2倍の数値のうちいずれか小さな数値
（30を超えるときは、30とする。）　（単位：m）

●地表面粗度区分

Ⅰ	極めて平坦で障害物がないものとして特定行政庁が規則で定める区域
Ⅱ	地表面粗度区分Ⅰ若しくはⅣの区域以外の区域のうち、海岸線若しくは湖岸線（対岸までの距離が1500m以上のものに限る。以下同じ。）までの距離が500m以内の地域（建築物の高さ13m以下である場合又は当該海岸線若しくは湖岸線からの距離が200mを超え、かつ、建築物の高さが31m以下である場合を除く。）又は当該地域外の地域のうち、極めて平坦で障害物が散在しているものとして特定行政庁が規則で定める区域
Ⅲ	地表面粗度区分Ⅰ、Ⅱ又はⅣの区域以外の区域
Ⅳ	都市化が極めて著しいものとして特定行政庁が規則で定める区域

●条件

1. 地表面粗度区分── Ⅲとする
2. 建築物所在地──東京都（基準風速：34m／s）
3. 建築物形状──陸屋根
（片流れ水勾配：1／50とする）
4. 屋根高さ（軒先高さと棟高さの平均）──30m
5. 幅 ── 50m　　奥行き ── 25m

●地表面粗度区分

Ⅰ	$Er = 1.7\ (H/250)^{0.10}$
Ⅱ	$Er = 1.7\ (H/350)^{0.15}$
Ⅲ・Ⅳ	$Er = 1.7\ (H/450)^{0.20}$

屋根高さ H ＝ 30m

$Er = 1.7(30/450)^{0.20} \fallingdotseq 0.989$

$\bar{q} = 0.6 \times Er^2 \times Vo^2 = 0.6 \times (0.989)^2 \times (34)^2 \fallingdotseq 679\ (N/m^2)$

一般部	$W = \bar{q} \times \hat{C}f_1 = -2.5 \times 679 \fallingdotseq -1698$	（風力係数※ $\hat{C}f_1 = -2.5$）
周縁部	$W = \bar{q} \times \hat{C}f_2 = -3.2 \times 679 \fallingdotseq -2173$	（ $\hat{C}f_2 = -3.2$）
隅角部	$W = \bar{q} \times \hat{C}f_3 = -4.3 \times 679 \fallingdotseq -2920$	（ $\hat{C}f_3 = -4.3$）

※「陸屋根の場合、θ ≒ 0°（正確には10度未満）のため、正のピーク外圧係数による計算は省略する。」

この条件の場合は、最も風圧のかかる部位で 2920N／m²の負圧となりますので、この値を超える固定力が防水層に求められることになります。

耐風性の検証

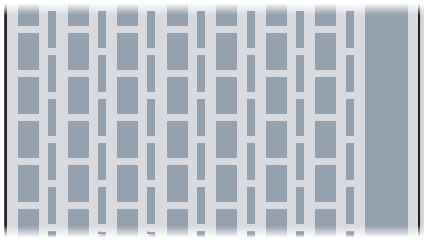
■試験条件

引張速度： 50 mm／min

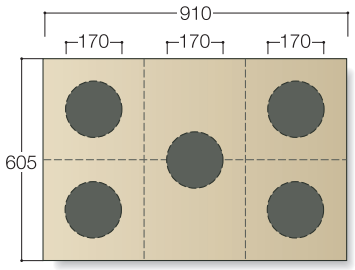
測定温度： 0, 20, 40 ±2 ℃

■接着面積

EEルーフBS（接着面積 56%）



シェーンボード（接着面積 20%）



■試験結果

測定温度 [℃]	接着強さ [N／cm²]					
	下地(プライマー)／カスタムM	カスタムM(USボンドA)／シェーンボード	下地(USボンドA)／シェーンボード	シェーンボード／EEルーフ類／	下地(プライマー)／EEルーフ類／	EEルーフ類／カスタムサンド類
0	96.7	14.9	20.0	68.2	70.6	77.1
20	51.7	17.0	20.6	33.1	41.2	42.9
40	19.5	9.0	21.0	13.6	22.5	20.4
接着面積	100%	20%	20%	56%·100%	56%·100%	100%
最低値	19.5	1.8	4.0	7.6	12.6	20.4

- 「カスタムEE工法」全工法の中で接着強さの最低値は「1.8 N／cm² (18000 N／m²)」です。
  - 工事安全率を 0.6 とすると、接着面積は　0.2 × 0.6 ＝0.12 (m²／m²)
  - 接着強度を9.0 (N／cm²：40℃) とした場合　0.12 × 9.0 ＝1.08 (N／cm²)
    ＝10800 (N／m²)
  - 強度安全率は、**最大風圧力**：－2920 (N／m²) より接着強度と比較して
    10800 ÷ 2920 ≒ 3.69　　故に**安全率は** 3.6となる

■高さ30mでの耐風性

風速 (m/s)	粗度区分	屋根部位			安全率
		一般部	周縁部・棟端部	隅角部	
34	Ⅰ	−3279	−4198	−5640	1.9
	Ⅲ	−1698	−2173	−2920	3.6
46*	Ⅰ	−6003	−7683	−10325	1.0
	Ⅲ	−3105	−3974	−5341	2.0

*沖縄地方を想定

■風速34m／s の場合

高さ (m)	粗度区分	屋根部位			安全率
		一般部	周縁部・棟端部	隅角部	
15	Ⅰ	−2855	−3654	−4910	2.1
	Ⅲ	−1286	−1646	−2211	4.8
45	Ⅰ	−3556	−4552	−6117	1.7
	Ⅲ	−1995	−2554	−3431	3.1

建築基準法（飛び火）について

建築物を建てようとする地域によっては、防水層の選定に建築基準法の制約を受ける場合があります。
防火地域では、市街地における火災を想定した、火の粉による建築物の火災の発生を防止するために、屋根を国土交通大臣が定めた構造方法を用いるか国土交通大臣の認定を受けたもの（飛び火認定）としなければなりません。
飛び火に関しては、「防火地域」「準防火地域」「22条地域※」がその制約を受けます。

※特定行政庁が防火地域･準防火地域以外の市街地について指定する区域内にある建築物の屋根

建築基準法では、防火地域、準防火地域内の建築物の屋根において、平成12年建設省告示第1365号により、以下のような構造方法を用いることが定められています。

構　　造：　屋根がコンクリート造、PCa、ALCのいずれか、又は耐火構造（国土交通大臣認定含む）
勾　　配：　30度以下
断熱材の厚さ：　50mm以下、又はなし
防水材の種類：　アスファルト防水、改質アスファルト防水、塩化ビニル樹脂系シート防水、ゴム系シート防水、塗膜防水のいずれか

※上記のすべてを満たさない場合は、飛び火認定が必要です。

■建築基準法･施行令･告示　抜粋

ー建築基準法第62条（旧第63条）ー

防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根の構造は、市街地における火災を想定した火の粉による建築物の火災の発生を防止するために屋根に必要とされる性能に関して建築物の構造及び用途の区分に応じて政令で定める技術的基準に適合するもので、国土交通大臣が定めた構造方法を用いるもの又は国土交通大臣の認定を受けたものとしなければならない。

［施行令第136条の2の2］

法第62条の政令で定める技術的基準は、次に掲げるもの（不燃性の物品を保管する倉庫その他これに類するものとして国土交通大臣が定める用途に供する建築物又は建築物の部分で市街地における通常の火災による火の粉が屋内に到達した場合に建築物の火災が発生するおそれのないものとして国土交通大臣が定めた構造方法を用いるものの屋根にあつては、第一号に掲げたもの）とする。

一　屋根が、市街地における通常の火災による火の粉により、防火上有害な発炎をしないものであること。
二　屋根が、市街地における通常の火災による火の粉により、屋内に達する防火上有害な溶融、亀裂その他の損傷を生じないものであること。

［告示第1365号］

第一　建築基準法施行令第136条の2の2各号に掲げる技術的基準に適合する屋根の構造方法は、次に定めるものとする。
一　不燃材料で造るか、又はふくこと。
二　屋根を準耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったものに限る。）とすること。
三　屋根を耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったもので、かつ、その勾配が水平面から30度以内のものに限る。）の屋外面に断熱材（ポリエチレンフォーム、ポリスチレンフォーム、硬質ポリウレタンフォームその他これらに類する材料を用いたもので、その厚さの合計が50mm以下のものに限る。）及び防水材（アスファルト防水工法、改質アスファルトシート防水工法、塩化ビニル樹脂系シート防水工法、ゴム系シート防水工法、又は塗膜防水工法を用いたものに限る。）を張ったものとすること。

第二　令第136条の2の2第一号に掲げる技術的基準に適合する屋根の構造方法は、第一に定めるもののほか、難燃材料で造るか、又はふくこととする。

ー建築基準法第22条ー

特定行政庁が防火地域及び準防火地域以外の市街地について指定する区域内にある建築物の屋根の構造は、通常の火災を想定した火の粉による建築物の火災の発生を防止するために屋根に必要とされる性能に関して建築物の構造及び用途の区分に応じて政令で定める技術的基準に適合するもので、国土交通大臣が定めた構造方法を用いるもの又は国土交通大臣の認定を受けたものとしなければならない。ただし、茶室、あずまやその他これらに類する建築物又は延べ床面積が10m^{2}以内の物置、納屋その他これらに類する建築物の屋根の延焼のおそれのある部分以外の部分については、この限りでない。

2　特定行政庁は、前項の規定による指定をする場合においては、あらかじめ、都市計画区域内にある区域については都道府県都市計画審議会（市町村都市計画審議会が置かれている市町村の長たる特定行政庁が行う場合にあつては、当該市町村都市計画審議会。第五十一条を除き、以下同じ。）の意見を聴き、その他の区域については関係市町村の同意を得なければならない。

飛び火認定取得済みの仕様の概要

下表の仕様は、飛び火試験に合格し、飛び火認定を取得しております。ご採用の際には、該当する認定書全文をご請求いただき、認定書通りの施工をしていただきますようお願いいたします。

飛び火試験に合格し、
国土交通省の個別認定を取得

仕様記号	仕上方法	認定番号	備　考
ESC-221 ESC-321	ロッコート 2.0kg/m²	DR-1055	断熱材厚み：200mm以下 断熱材接着剤：USボンドA(0.8kg/m²以下) プライマー※2：カスタムプライマーE(0.2kg/m²)又はカスタムプライマー(0.2kg/m²)
ESC-210 ESC-310	トップタイト	DR-2007(4)※1	トップタイト張付け：USボンドA(1.5kg/m²以下)又は防水工事用アスファルト(1.5kg/m²以下) 断熱材厚み：400mm以下 断熱材接着剤：USボンドA(1.2kg/m²以下)又は防水工事用アスファルト(1.5kg/m²以下) プライマー※2：カスタムプライマーE、カスタムプライマー、速乾プライマー、USプライマーC1、USプライマーC10のいずれか(全て0.2kg/m²)
ESC-220 ESC-320 ESC-221 ESC-321 ESC-220F ESC-320F ESC-221F ESC-321F		DR-2007(2)※1	
ESC-210 ESC-310	FPクール 0.8kg/m²	DR-2084(3)	断熱材厚み：300mm以下 断熱材接着剤：USボンドA(1.5kg/m²以下)又は防水工事用アスファルト(1.5kg/m²以下) プライマー※2：カスタムプライマーE、カスタムプライマー、速乾プライマー、USプライマーC1、USプライマーC10のいずれか(全て0.2kg/m²)
ESC-220 ESC-320 ESC-221 ESC-321 ESC-220F ESC-320F ESC-221F ESC-321F		DR-2084(4)	

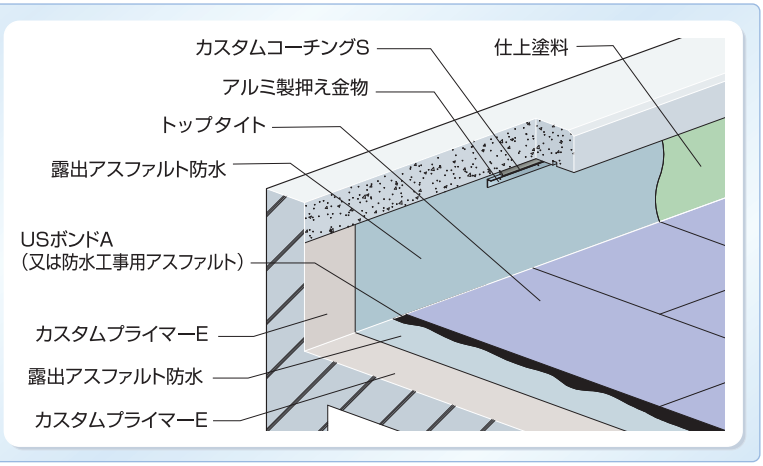
共通条件　下地：コンクリート系(RC/SRC/PC/ALC)
勾配：0～30°

※1 DR-2007(2)は、平場において仕上塗料なしでのトップタイト全面張りの場合です。
部分張りとする場合には、トップタイトを張らない部分の飛び火認定書も必要となります。
※2 ALCの場合、塗布量は0.4kg／㎡とします。

■その他、詳細については該当する認定書をご確認ください。
■陸屋根で木質系セメント系ボード下地をご検討の場合は、弊社営業担当者までご相談ください。

トップタイト張付け方法

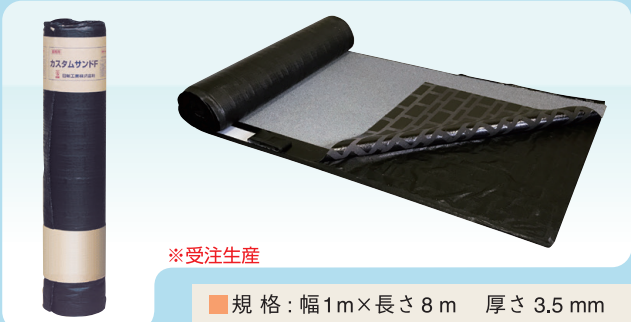
- 施工範囲に墨出しして割付を行う。
- USボンドAで施工する場合は、トップタイト裏面にUSボンドAをコート刷毛を用いて、規定量を塗布する。
- 防水工事用アスファルトで施工する場合は、下地(露出アスファルト防水)に防水工事用アスファルトを規定量塗布しながらトップタイトを張り付ける。
- トップタイト表面を汚さないように注意して張り付け、圧着させる。
- トップタイト同士は、3～5mm程度空けて、千鳥張りで張り付ける。



ルーフィング類／副資材

露出単層防水用R種Ⅱ類

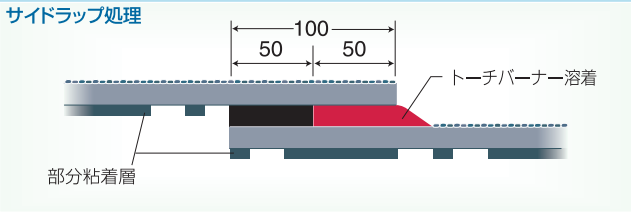
カスタムサンドF　部分粘着タイプ



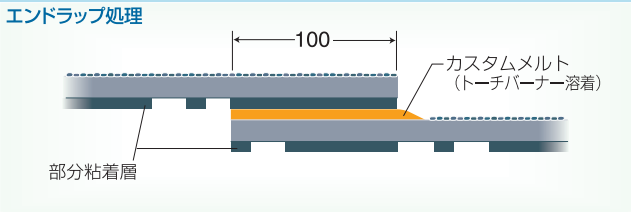
※受注生産

■規 格：幅1m×長さ8m　厚さ 3.5 mm

サイドラップ処理

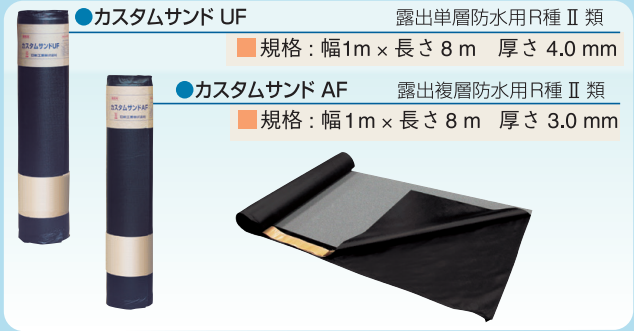


エンドラップ処理



露出単層防水用R種Ⅱ類　露出複層防水用R種Ⅱ類

カスタムサンドUF·AF　全面粘着タイプ



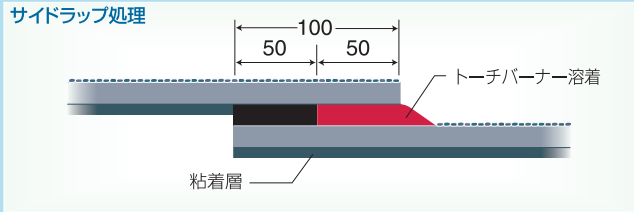
●カスタムサンド UF　露出単層防水用R種Ⅱ類

■規格：幅1m × 長さ8m　厚さ 4.0 mm

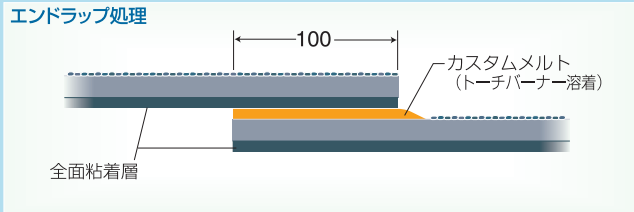
●カスタムサンド AF　露出複層防水用R種Ⅱ類

■規格：幅1m × 長さ8m　厚さ 3.0 mm

サイドラップ処理



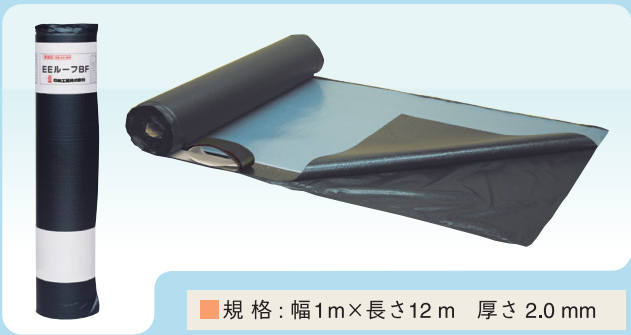
エンドラップ処理



※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

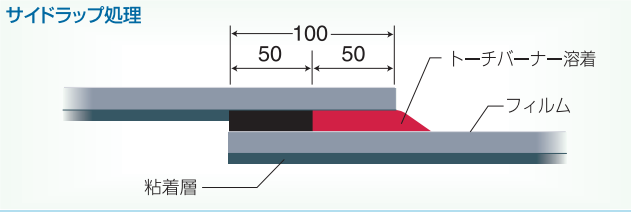
非露出複層防水用R種Ⅱ類

EEルーフBF　全面粘着タイプ

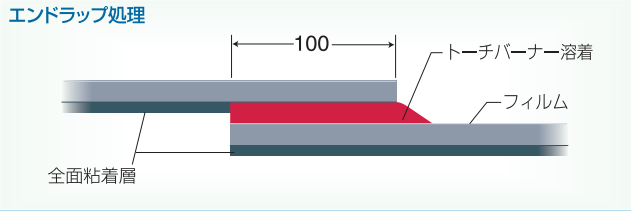


■規 格：幅1m×長さ12m　厚さ 2.0 mm

サイドラップ処理

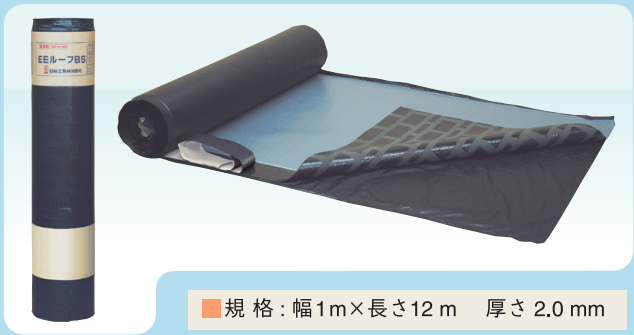


エンドラップ処理



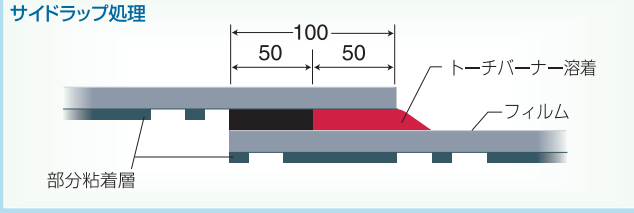
非露出複層防水用R種Ⅱ類

EEルーフBS　部分粘着タイプ

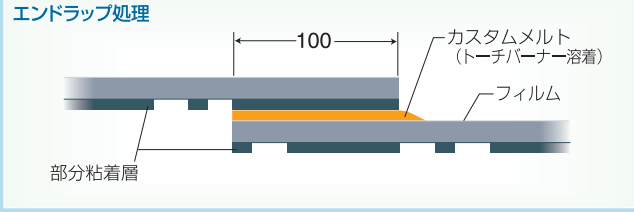


■規 格：幅1m×長さ12m　厚さ 2.0 mm

サイドラップ処理



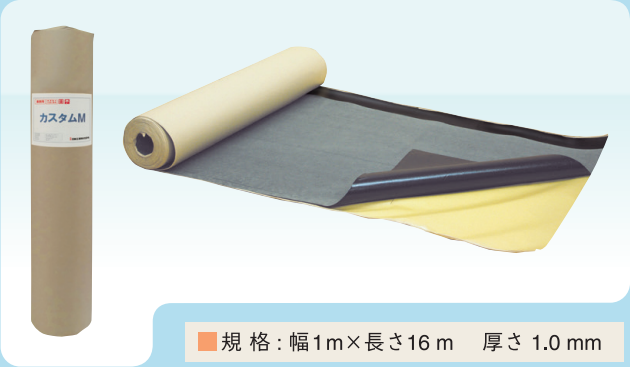
エンドラップ処理



防湿用ルーフィング

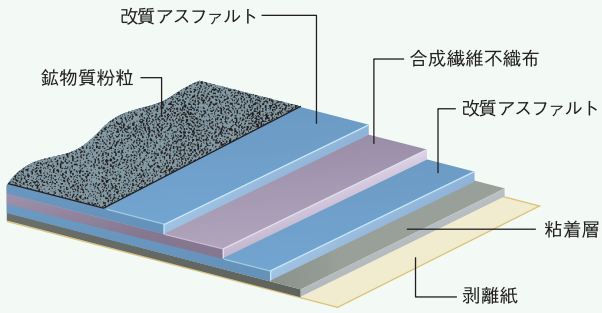
カスタムM

全面粘着タイプ



■規 格：幅1m×長さ16 m　厚さ 1.0 mm

構　成



副資材

カスタムメルト

改質アスファルトテープ
ルーフィングのエンドラップやドレン等の役物回りの施工に使用します。

■規 格：幅100mm×長さ10m　厚さ 1.0 mm
重量 3kg（荷姿：2巻入）

EEルーフBFテープ

合成繊維不織布を基材に改質アスファルトを含浸・被覆した粘着層付改質アスファルトルーフィングで、入隅部等の増張りに使用します。

■規 格：幅200mm×長さ12m　厚さ 2.0mm
重量 10.8kg（荷姿：2巻入）

カスタムメルトの施工方法

例 エンドラップ処理

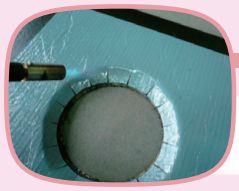
カスタムメルトをアスファルトがはみ出るように若干ずらして張る。

カスタムメルト表面を炙りアスファルトを溶融させる。

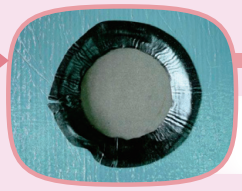
転圧ローラー

重ね部をローラーで転圧する。

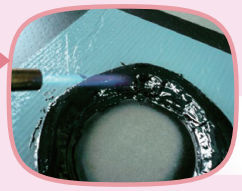
例 ドレン回り



カスタムメルトを溶着するために軽く炙る。



カスタムメルトを伸ばしながら張る。



カスタムメルトを良く炙りコテで伸ばす。

※カスタムメルトを張り付ける前に、砂付ルーフィングを軽く炙り、速やかにカスタムメルトを張り付けてください。

プライマー／仕上塗料／下地調整材

プライマー類

カスタムプライマーE

ゴムアスファルトをベースとした水性系アスファルトプライマーです。

■規 格：16 kg／缶

カスタムプライマー

ゴムアスファルトをベースとした溶剤系プライマーです。寒冷地などに使用します。

■規 格：16kg／缶（第四類第二石油類）

速乾プライマー

ゴムアスファルトをベースとした、屋外専用の溶剤系プライマーです。

■規 格:15kg／缶

標準仕上塗料（遮熱）

プレノカラー遮熱 グリーン購入法適合

遮熱効果を持つ水性アクリル系カラー塗料です。防水層を紫外線から保護すると共に、熱的劣化を抑制することができます。

ライトグレー　シルバーグレー　ミドルグレー

■規 格：16.3kg／缶
塗布量の目安：0.5kg／m²（2回塗り）　塗替の目安：7～9年

サーモロックカラーMB グリーン購入法適合

明度を下げた遮熱効果を持つ暗色系水性アクリル系カラー塗料です。照り返しの眩しさが気になる屋根や、従来の塗料では意匠的に明るすぎると感じる屋根に最適です。

※受注生産

グレー　グリーン　アッシュグリーン　トープ　レンガ　ブラウン

■規 格：16.3kg／缶
塗布量の目安：0.5kg／m²（2回塗り）　塗替の目安：7～9年

FPクール グリーン購入法適合

遮熱効果と飛び火抑制機能を併せ持つ水性アクリル系カラー塗料です。
防水層の熱的・紫外線劣化を抑制し、飛び火などによる延焼を抑制することができます。

※受注生産

ホワイト　ライトグレー　ライトグリーン

■規 格：18kg／缶
塗布量の目安：0.8kg／m²（2回塗り）　塗替の目安：10～13年

ハイクール グリーン購入法適合

高い遮熱効果と耐候性を併せ持つ水性アクリルシリコン系カラー塗料です。
日射反射率が高く、防水層の熱的・紫外線劣化を抑制することができます。

ホワイト　ミドルグレー　ライトグリーン

■規 格：16kg／缶
塗布量の目安：0.5kg／m²（2回塗り）　塗替の目安：10～13年

飛び火対応用仕上塗料

ロッコート

合成樹脂、無機難燃化剤等を主成分とする水 性カラー塗料です。防水層の劣化を防ぐだけでなく、飛び火などによる延焼を抑制することができます。

※受注生産

ミドルグレー　ライトグリーン

■規 格：20kg／缶
塗布量の目安：0.8～2.0kg／m²（2回塗り）
塗替の目安：7～9年

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

注：色見本は印刷物ですので、現物の色調とは若干異なる場合があります。

F☆☆☆☆

USプライマーC1

ASI-J1に使用する溶剤系プライマーです。ポルトランドセメントと1：0.5～1の割合で混合すると、「USプライマーC10」として使用できます。

■規 格：17kg／缶（第四類第二石油類）

F☆☆☆☆

USプライマーC2

既存下地がウレタン系塗膜防水層である場合に使用する溶剤系プライマーです。

■規格：16kg／缶（第四類第一石油類）

F☆☆☆☆

USプライマーM2

既存下地が合成高分子系シート防水層である場合に使用する溶剤系プライマーです。

■規格：0.5kg／缶、17kg／缶
（第四類第一石油類）

下地調整材

マルエスシーラー

既存下地がアスファルト防水層である場合に使用する溶剤系のアスファルト系下地調整材です。

■規 格：20kg／缶（第四類第二石油類）

AQシーラー

既存下地がアスファルト防水層である場合に使用する水性のアスファルト系下地調整材です。

2.0kg/m²で塗布した場合、一時的な仮防水に使用できます。※

■規 格：A材（17kg／缶）B材（18kg×2袋）

ニューセッターボードA

無機質系充填材を混入したアスファルト系マスチックパネルです。

■規 格：900mm×1000mm
厚さ：4mm

フィットエポ #10

コンクリート面に対して高い接着力を持つセメント系下地調整材です。

3mm厚で塗布した場合、一時的な仮防水に使用できます。※

■規 格：主　剤（4kg）硬化剤（4kg）
粉　体（13kg×2袋）

フィットリーチ

硬化体は耐溶剤性に優れ、ウレタン防水・シート防水に適した下地調整材です。

2mm厚で塗布した場合、一時的な仮防水に使用できます。※

■規 格：主　剤（25kg）　混和液（4kg）

フィットベース

既存下地が露出アスファルト防水層の不陸調整に使用する水性のエポキシ樹脂系下地調整材です。

■規 格：主剤（1kg／袋）　硬化剤（3kg／袋）
粉体（15kg／袋）

ショウテック早強 #200

既存パラペット等の緊急補修用に開発された急結高強度無収縮既調合モルタルです。

■規 格：混合剤（4kg・18kg／缶）
粉　体（25kg／袋）

フィットネオ

1液のアクリル系下地調整材です。

1.0kg／m²以上塗布した場合、一時的な仮防水に使用できます。※

■規 格：16kg／缶

※ピンホールが生じた場合や、下地の動きや落下等でひび割れが発生した場合、塗布量が規定より少ない場合は、仮防水の性能はありません。

仕上材／断熱材／改修用ドレン

仕上材

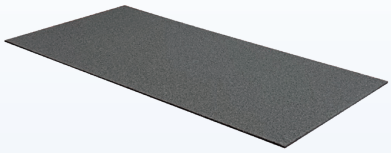
PFシステム 乾式浮床システム

高さを自由に変えられるPFスタンドとコンクリート成型板などを組み合わせ防水層を保護すると同時に、段差のないバリアフリースペースを設ける工法です。

※詳細は、「PFシステム」カタログをご参照ください。

トップタイト アスファルト成形板

補強材を付与したアスファルト成形板で、　表面に化粧砂粒を圧着したものです。防水層の上に直接貼り付ける簡単な施工方法で、防水層の耐久性を向上させると共に軽歩行用途に適しています。
（保護塗料の塗布・乾燥後に施工してください）



寸 法（m）	1.0×0.5
厚 さ（mm）	6.0
質 量（kg）	5.5

レッド　グリーン　ライトグレー　グレー

※詳細は、「アスファルト防水の仕様」カタログをご参照ください。
※時期や枚数により、納期に時間をいただく場合があります。

カチトール 砂利まき樹脂固定工法

防水層またはUSD工法の断熱材の上に、約30mmの厚さに敷き並べた砂利を特殊エマルジョンを用いて砂利相互を接着固定します。
（非歩行）
※受注生産

※詳細は、「カチトール砂利まき工法」カタログをご参照ください。

ピロブロック コンクリート成型ブロック

防水層の上に、またはUSD工法の断熱材の上にコンクリート成型ブロック（ピロブロック）を敷き並べる仕上げ工法です。（非歩行）

寸法（m）	0.45×0.45／枚
厚さ（mm）	25
質量（kg）	11

※詳細は、「アスファルト防水の仕様」カタログをご参照ください。

断熱材（ノンフロン）

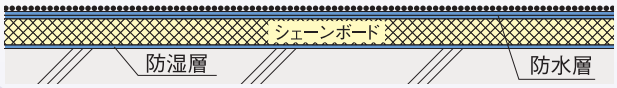
シェーンボード 硬質ウレタン系断熱材 グリーン購入法適合

寸　法(mm)	605×910					
厚　さ(mm)	25	30	35	40	50	60※
梱包単位(枚)	20	15	15	10	10	8

※受注生産
（地域によっては寸法が605×830mmになる場合があります）

フロンを使用しないで製造した硬質ウレタン系断熱材で耐熱性に優れており、断熱露出防水工法に使用します。

※JIS A 9521（建築用断熱材）硬質ウレタンフォーム断熱材2種1・2号の透湿係数を除く規格に適合します。

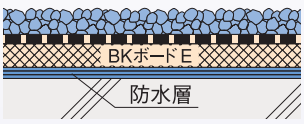


BKボードE 押出成形ポリスチレン系断熱材 グリーン購入法適合

押出成形ポリスチレン系断熱材です。水蒸気透過性が極めて小さいので、断熱材を防水層の上に設ける断熱保護防水工法(USD工法)に使用します。

寸法（mm）	910×910
厚さ（mm）	25, 30, 35, 40, 50, 60（受注生産）

※JIS A 9521（建築用断熱材）押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bAの認定品です。

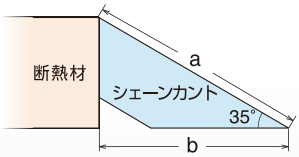


シェーンカント

断熱露出工法のドレン部等に使用するキャント材です。

長　さ	910mm

断熱材対応厚さ	a	b	梱包
30mm	52mm	43mm	40本入
35mm	61mm	50mm	30本入
40mm	70mm	57mm	24本入
50mm	87mm	71mm	16本入
60mm	105mm	86mm	10本入

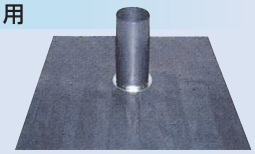


※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

改修用ドレン マルエス鉛・銅ドレン

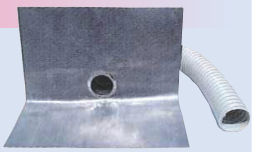
マルエス鉛ドレンM

縦 用



■外寸法：330mm×330mm
×(H)150mm
■板　厚：1.5mm

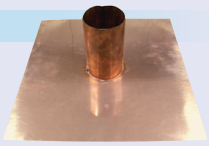
横 用



■外 寸 法：330mm×330mm
■ホース長：500mm
■板　　厚：1.5mm

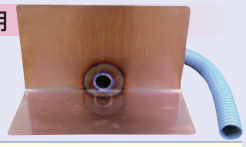
マルエス銅ドレン

縦 用



■外寸法：365mm×365mm
×(H)150mm
■板　厚：本体部0.5mm
筒　部0.7mm

横 用



■外 寸 法：365mm×365mm
■ホース長：600mm
■板　　厚：本体部0.5mm
筒　部0.7mm

縦 用

	呼 称	内 径 (mm)	外 径 (mm)	許容最大屋根面積 (m²)
鉛ドレンM	φ40	34	37	23.9
	φ50	43	46	44.7
	φ60	52	55	74.3
	φ70	60	63	108.8
	φ80	72	75	176.9
	φ90	84	87	266.8
	φ100	92	95	340.1
銅ドレン	φ75	56.6	58.0	93.1
	φ100	78.1	79.5	219.7

横 用

	呼 称	ドレン内径 (mm)	ジャバラ内径 (mm)	ジャバラ外径 (mm)	許容最大屋根面積 (m²) 配管こう配 1/25	1/50	1/75	1/100
鉛ドレンM	φ50	34	38.2	44.5	24.4	—	—	—
	φ60	43	50.8	57.8	45.6	32.2	—	—
	φ75	60	63.5	71.2	110.8	78.3	64.0	—
	φ90	72	76.2	84.6	180.2	127.4	104.0	90.1
	φ100	84	88.9	97.7	271.8	192.2	156.9	135.9
	φ125	92	101.3	110.5	346.4	244.9	200.0	173.2
銅ドレン	φ75	60.8	63.5	72.6	114.8	81.2	66.3	57.4
	φ100	73.4	76.2	85.8	189.7	134.1	109.5	94.8

※【SHASE-S 206-2019 給排水衛生設備基準・同解説】　4. 雨水排水管径の決定により算出（許容最大屋根面積は、雨量 100mm/h を基礎として算出しているもので、流速が 0.6m/s 未満または 1.5m/s を超えるものは望ましくないので除外（–を記入））

マルエスアルミドレンキャップ

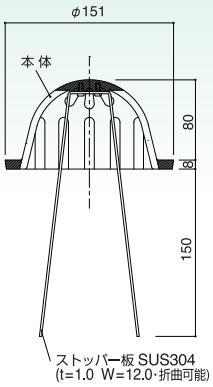
■縦・大

適用径 φ50～100

■縦・小

適用径 φ30～75

マルエスドレンキャップ・縦（鉄鋳物）



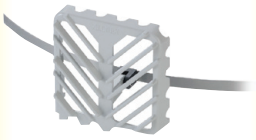
適用径 φ50～110

マルエスアルミドレンキャップ

■横・中・自在

適用径 φ50～100

■横・小・平



適用径 φ40～65

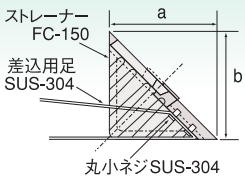
■横・小・L

適用径 φ40～65

■横・大・自在

適用径 φ75～150

マルエスドレンキャップ・横(鉄鋳物)

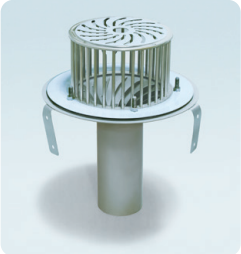


	適用径	a	b
標準	φ50～100	97	97
大	φ100～125	110	125

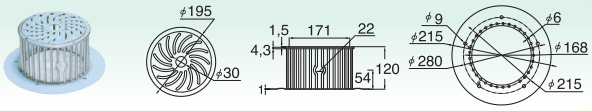
改修用ドレン スパイラルドレン

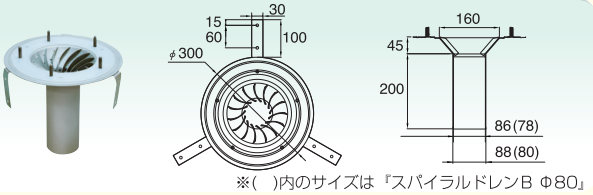
排水口がスパイラル（螺旋）構造となっており、排水機能が大幅に向上しております。又、ステンレス製（SUS304）なので耐食・耐久性に優れます。

スパイラルドレンA Φ88 / スパイラルドレン B Φ80



■1個／箱
・ストレーナー
・ナット
・シリコンゴム
同梱





※(　)内のサイズは『スパイラルドレンB Φ80』

脱気装置／副資材・工具／ディスク・

脱気装置 ニューステンレスベント・コア

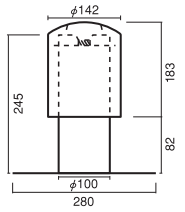
ニューステンレスベント

- 露出絶縁防水工法の平場より下地の湿気等を排出する脱気装置です。
- ステンレス製(SUS 304)なので耐久性・耐腐食性良好です。
- 円筒部が大きいので施工性良好です。
- 形状がシンプルで頂部の開口部が大きいので脱気能力に優れています。

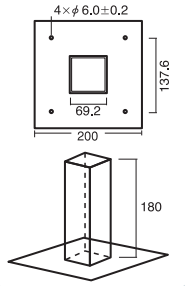
コア

- 露出断熱工法の場合は、ニューステンレスベントの下部に使用します。

●ニューステンレスベント



●コア



副資材・工具

USボンドA

F☆☆☆☆

1液型のアスファルト系接着剤です。
断熱材等の張り付け等に使用します。

■規 格：20kg／缶、10kg／缶
330mLカートリッジ24本／箱入

クロスK

ポリエステル繊維メッシュのクロスです。
キュービックコートの膜厚を確保すると共に、塗膜強度の向上効果があります。

■規 格：1.02m×50m／巻

キュービックコート

1液型のアスファルト系防水材です。「複雑部位」「狭所」に使用します。

■規 格：10kg／缶

カスタムコーチングS

接着性、耐寒性、高温ダレ特性に優れたゴムアスファルト系シール材です。
防水層の端末部や張仕舞、ルーフドレン･パイプ回りなど水密性を要求される部位に使用します。

■規 格：22kg／缶、11kg／缶、
330mLカートリッジ24本／箱入

USボンド

F☆☆☆☆

2成分無溶剤型ウレタン系接着剤です。

■規格:10kg／セット
主剤:2kg・硬化剤:8kg

PTクロス

保護防水用の絶縁シート（フラットヤーンクロス）です。押え層の動きによる防水層の損傷を防ぎます。

寸法(m)	1×200
単位質量	70g／m^2

メジテープ

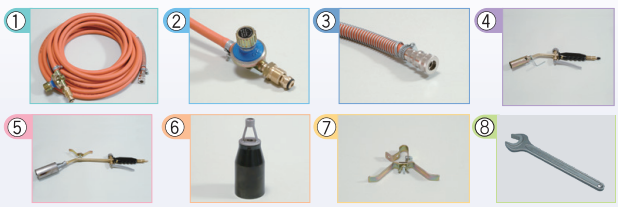
- 伸縮目地処理用の粘着層付改質アスファルト防水テープです。
- 剥離フィルムを剥がすだけで下地に接着するため、作業性が向上します。
- カッターやハサミでカットし、1スパンごとに5mm程度あけて張り付けます。

※受注生産

厚さ(mm)	1（剥離フィルム込）	寸法(m)	0.1×16

F16ハンドトーチバーナーセット

改質アスファルトルーフィングを融着させるバーナーセットです。 ■セットと単品での購入が可能です。



「F16ハンドトーチバーナーセット」内容

① ホース(10m)×1
② レギュレータ×1
③ カプラー×1
④ ショートアーム　火口φ30付×1
⑤ レギュラーアーム チタン火口φ50付×1
⑥ 火口φ70×1
⑦ スタンド×1
⑧ スパナ×1

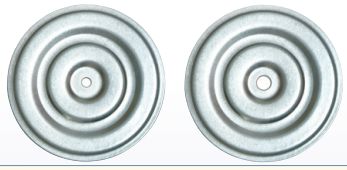
※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

ビス類／太陽電池基礎架台

ディスク・ビス類

メカディスクB

エアピン用▶



◀アンカーボルト・MFプラグビス用

■規格:エアピン用 直径φ80(穴径φ4.5)50枚袋入り
アンカーボルト・MFプラグビス用 直径φ80(穴径φ7.0)22枚袋入り

メカディスクC

エアピン用▶

◀アンカーボルト・MFプラグビス用

■規格:エアピン用 直径φ45(穴径φ4.5)100枚袋入り
アンカーボルト・MFプラグビス用 直径φ45(穴径φ7.0)
100枚袋入り

アンカーボルトS・M・L

アンカーボルトS▶ アンカーボルトM▶ アンカーボルトL▶

全て穿孔長は30mm以上

■規格: アンカーボルトS 軸径φ6(ドリル径φ6.4)L=40mm 80本/箱
アンカーボルトM 軸径φ6(ドリル径φ6.4)L=60mm 100本/箱※
アンカーボルトL 軸径φ6(ドリル径φ6.4)L=80mm 100本/箱※
※納期に10日間程度かかる場合があります。

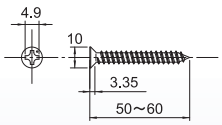
エアピン

■規格: 30・35・40・45・50・55・60mm 各100本/箱
※躯体に対し、30±5mmビスが貫入するようにビスをご選定ください。

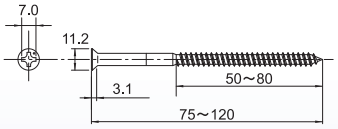
MFプラグビス

■ビスの形状

●50mm～60mm

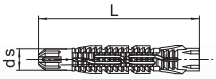


●75mm～120mm



■プラグの形状

●HUD-L
(ds×L=6×50/8×60)



■MFプラグビスの種類

名　称	ビス規格	材　質	プラグ呼称	材　質	対応断熱材厚み	ドリル径	十字ビット	梱包単位
HUD-50	φ4.5㎜×50㎜	ステンレス	HUD-L (6×50)	ナイロン	対応不可	φ6㎜	No.2	500本/箱
HUD-60	φ4.5㎜×60㎜							
HUD-75	φ5.8㎜×75㎜		HUD-L (8×60)		30㎜以下	φ8.5㎜	No.3	100本/箱
HUD-90	φ5.8㎜×90㎜				35～45㎜			
HUD-105	φ5.8㎜×105㎜				50～60㎜			
HUD-120	φ5.8㎜×120㎜				65～75㎜			

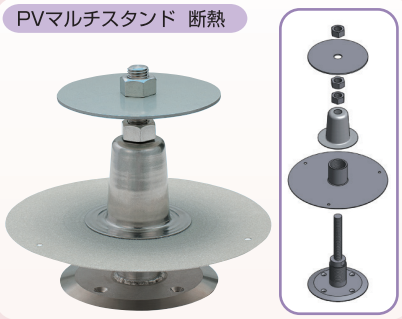
※躯体に対し、40mm以上ビスが貫入するようにビスをご選定ください。

太陽電池基礎架台

防水システム専用の太陽電池「基礎架台」及び「架台」です。適用可能下地はRCのみです。

PVマルチスタンド

PVマルチスタンド 断熱



	PVマルチスタンド	PVマルチスタンド 断熱
規格	φ150×175mm(ボルト径:20mm)	φ150×210mm(ボルト径:20mm)
素材	ステンレス製(SUS304)	ステンレス製(SUS304)
梱包単位	2個入り/箱(ビス及びアンカー同梱)	2個入り/箱(ビス及びアンカー同梱)

※詳細は専用カタログ「PVマルチスタンド」をご参照ください。

水切金物

マルエスアルミ水切

製品記号の見方

マルエス水切	形状－1	形状－2		縦寸法	横寸法	厚み	形状－3
M	L		－	30	10	A	
	F：フラット L：L型 C：壁用(EPT) K：壁用 T：天端用	N：返し無し I：イ型金物			L型のみに適用	A：1.2mm B：1.5mm C：1.8mm D：2.0mm 上記以外 BC：1.7mm	MT(天端)のみに適用 S：外(はね出し) U：内(巻き込み)

※アルミ水切はMT-61BS直線を除き、全てビス穴無しで納材されます。ビス穴が必要な場合は50頁「製品発注に関する注意事項」をご参照ください。

●MF(フラット)

MF-30D

■ 規格

30mm×2m
t=2.0mm

MF-34B

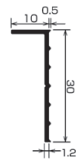
ジョイント板別途(型材)

■ 規格

34×6.5mm×2m
t=1.5mm

●ML(L型)

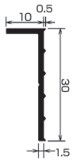
ML-3010A



■ 規格

30×10mm×2m
t=1.2mm

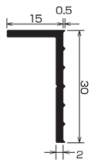
ML-3010B



■ 規格

30×10mm×2m
t=1.5mm

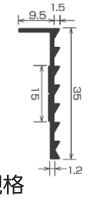
ML-3015D



■ 規格

30×15mm×2m
t=2.0mm

ML-3511A



■ 規格

35×11mm×2m
t=1.2mm

ML-4010A

■ 規格

40×10mm×2m
t=1.2mm

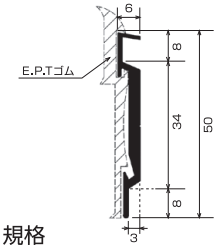
ML-4010D

■ 規格

40×10mm×2m
t=2.0mm

●MC(壁用水切EPTゴム付き)

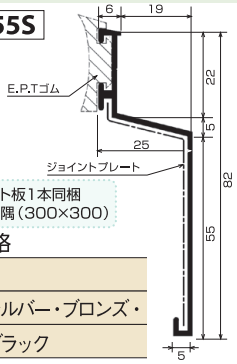
MC-50S



■ 規格

2m
色　シルバー

MC-55S

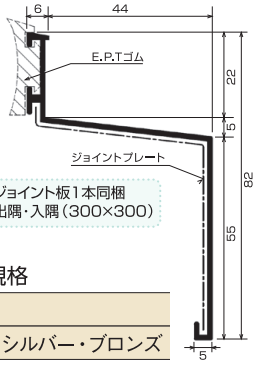


ジョイント板1本同梱
出隅・入隅(300×300)

■ 規格

3m
色　シルバー・ブロンズ・ブラック

MC-55WS



ジョイント板1本同梱
出隅・入隅(300×300)

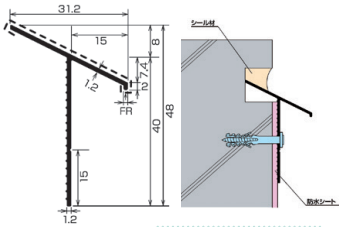
■ 規格

3m
色　シルバー・ブロンズ

※MC金物は、アゴの出が小さい立上り等に使用します。

●MK(壁用特殊)

MKI-48A



ジョイント板別途(型材)
出隅・入隅(200×200)

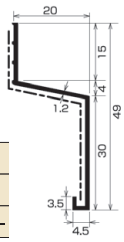
■ 規格

2m　色　シルバー

●MK(壁用水切)

MKN-49A

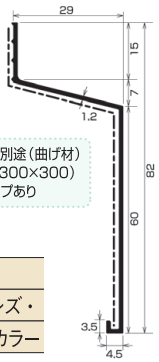
ジョイント板別途(曲げ材)
出隅・入隅(200×200)
エンドキャップあり



■ 規格

2m　t=1.2mm
色　シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー

MKN-82A



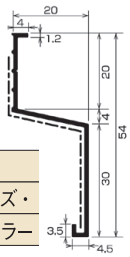
ジョイント板別途(曲げ材)
出隅・入隅(300×300)
エンドキャップあり

■ 規格

2m　t=1.2mm
色　シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー

MK-54A

ジョイント板別途(曲げ材)
出隅・入隅(200×200)
エンドキャップあり



■ 規格

2m　t=1.2mm
色　シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー

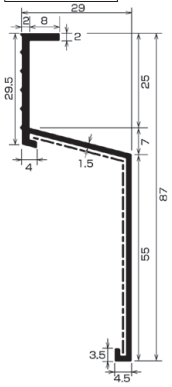
MK-72B

ジョイント板別途(曲げ材)
出隅・入隅(300×300)
エンドキャップあり

■ 規格

2m　t=1.5mm
色　シルバー

MK-87B

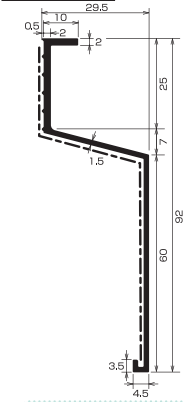


ジョイント板別途(曲げ材)
出隅・入隅(300×300)
エンドキャップあり

■ 規格

2m　t=1.5mm
色　シルバー・ブロンズ・ステンカラー

MK-92B

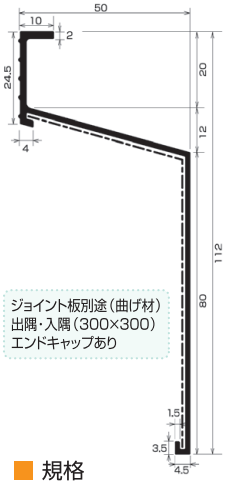


ジョイント板別途(曲げ材)
出隅・入隅(300×300)
エンドキャップあり

■ 規格

2m　t=1.5mm
色　シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー

MK-112B



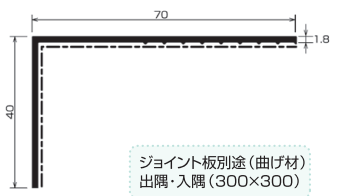
ジョイント板別途(曲げ材)
出隅・入隅(300×300)
エンドキャップあり

■ 規格

2m　t=1.5mm
色　シルバー

●MT（天端用）

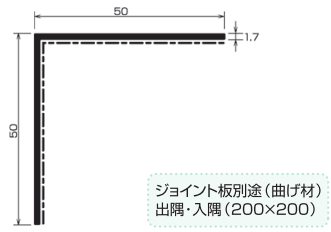
MT-40C



■ 規格

40×70mm×2m	t=1.8mm
色 シルバー・ブラック	

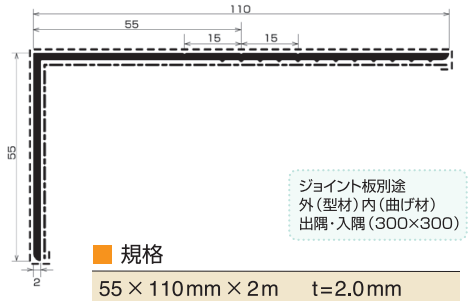
MT-50BC



■ 規格

50×50mm×2m	t=1.7mm
色 シルバー	

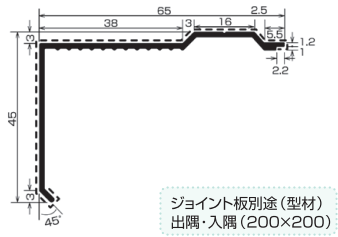
MT-55D



■ 規格

55×110mm×2m	t=2.0mm
色 シルバー	

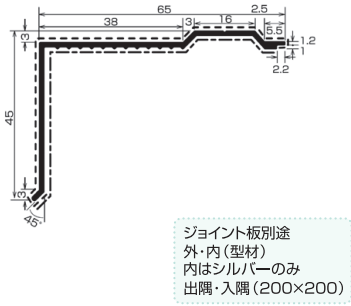
MT-42BU



■ 規格

42×65mm×2m	t=1.5mm
色 シルバー	

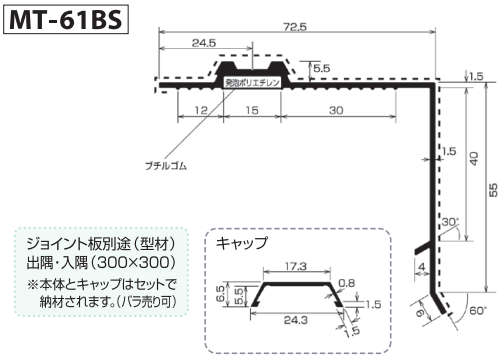
MT-42BS



■ 規格

42×65mm×2m	t=1.5mm
色 シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー	

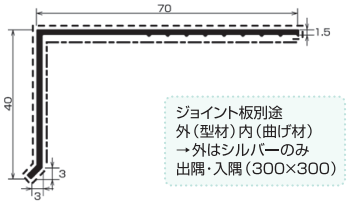
MT-61BS



■ 規格

61×72.5mm× 2m	t=1.5mm
色 シルバー 直線はビス穴有品のみ（Φ6、8穴、50端）	

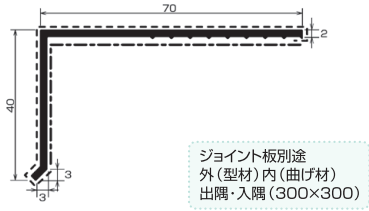
MT-40BS



■ 規格

40×70mm×2m	t=1.5mm
色 シルバー・ブロンズ・ブラック・ステンカラー	

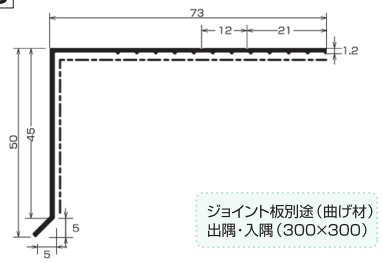
MT-40DS



■ 規格

40×70mm×2m	t=2.0mm
色 シルバー	

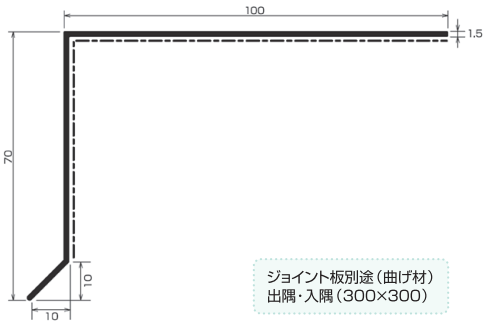
MT-50AS



■ 規格

50×73mm×2m	t=1.2mm
色 シルバー	

MT-70BS



■ 規格

70×100mm×2m	t=1.5mm
色 シルバー	

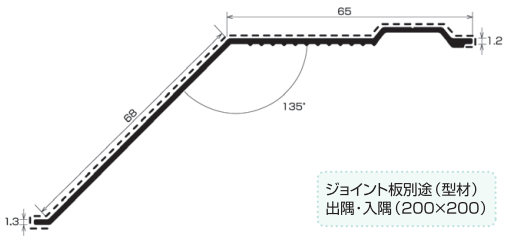
MT-110D

■ 規格

110×55mm×2m	
t=2.0mm	
色 シルバー	

●MT（天端用特殊）

MT-50AB



■ 規格

H 50 68×65mm×2m	t=1.3mm
色 シルバー・ブロンズ・ブラック	

※マルエスアルミ水切金物の取付用アンカープラグビスには、セルボ（SELBO5×36）・フィッシャープラグ（SWL6×50、SWL6×60）の皿ビス・ステンレス製の使用をお勧めします。

製品発注に関する注意事項／勾配屋根

	製品名	規格	厚さ(mm)	ジョイント		コーナー		キャップ		備考
				外	内	出隅	入隅	右	左	
アルミ金物類	MF-30D	30mm×2m/本	2.0	—	—	—	—	—	—	フラット
	MF-34B	34×6.5mm×2m/本	1.5	○	—	—	—	—	—	
	ML-3010A	30×10mm×2m/本	1.2	—	—	—	—	—	—	L型アングル
	ML-3010B	30×10mm×2m/本	1.5	—	—	—	—	—	—	
	ML-3015D	30×15mm×2m/本	2.0	—	—	—	—	—	—	
	ML-3511A	35×11mm×2m/本	1.2	—	—	—	—	—	—	
	ML-4010A	40×10mm×2m/本	1.2	—	—	—	—	—	—	
	ML-4010D	40×10mm×2m/本	2.0	—	—	—	—	—	—	
	MC-50S	2m/本	—	—	—	○	○	—	—	壁用（EPTゴム付）
	MC-55S	3m/本	1.4	—	○	○	○	—	—	
	MC-55WS	3m/本	1.4	—	○	○	○	—	—	
	MKN-49A	2m/本	1.2	—	○	○	○	○	○	壁用
	MKN-82A	2m/本	1.2	—	○	○	○	○	○	
	MK-54A	2m/本	1.2	—	○	○	○	○	○	
	MK-72B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○	
	MK-87B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○	
	MK-92B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○	
	MK-112B	2m/本	1.5	—	○	○	○	○	○	
	MKI-48A	2m/本	1.2	○	—	○	○	—	—	壁用（特殊）
	MT-40C	40×70mm×2m/本	1.8	—	○	○	○	—	—	天端用
	MT-50BC	50×50mm×2m/本	1.7	—	○	○	○	—	—	
	MT-55D	55×110mm×2m/本	2.0	○	○	○	○	—	—	
	MT-42BU	42×65mm×2m/本	1.5	○	—	○	○	—	—	
	MT-42BS	42×65mm×2m/本	1.5	○	○※	○	○	—	—	
	MT-61BS（キャップ付）	61×72.5mm×2m/本	1.5	○	—	○	○	—	—	
	MT-40BS	40×70mm×2m/本	1.5	○※	○	○	○	—	—	
	MT-40DS	40×70mm×2m/本	2.0	○	○	○	○	—	—	
	MT-50AS	50×73mm×2m/本	1.2	—	○	○	○	—	—	
	MT-70BS	70×100mm×2m/本	1.5	—	○	○	○	—	—	
	MT-110D	110×55mm×2m/本	2.0	○	○	○	○	—	—	
	MT-50AB	H50mm 68×65mm×2m/本	1.3	○	—	○	○	—	—	天端用（特殊）

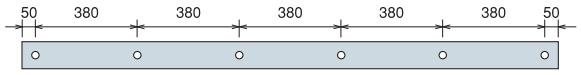
※ジョイント板の取扱いはシルバーのみです。

マルエスアルミ水切りの製品発注に関する注意事項

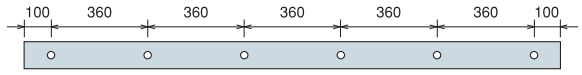
アルミ水切はMT-61BSを除き、全てビス穴無しで納材されます。ビス穴が必要な場合は発注時に必ず「ビス穴有り」と明記し「穴数」「穴径」※「穴ピッチ」「端からの距離」をご指定ください。（下図参照）

■ 穴アケ参考ピッチ※ 穴径はφ4.5・φ5・φ5.5・φ6・φ6.5の5種類から選択可能です。

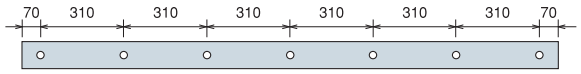
● 6穴@380mm（端から50mm）



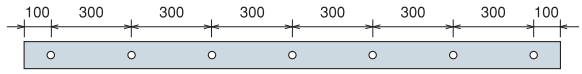
● 6穴@360mm（端から100mm）



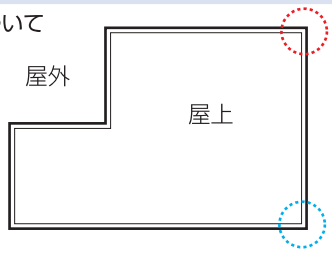
● 7穴@310mm（端から70mm）



● 7穴@300mm（端から100mm）



■ 役物回りについて



● 壁用水切の出隅・入隅コーナーについて

「出隅コーナーが1か所」「入隅コーナーが5か所」となります。（屋上から屋外を見る方向）

● 天端・フラット笠木の出隅・入隅コーナーについて

「出隅コーナーが5か所」「入隅コーナーが1か所」となります。（屋外から屋上を見る方向）

● 各種エンドキャップ

青○部は「エンドキャップ右」赤○部は「エンドキャップ左」となります。（屋上から屋外を見る方向）

工法用製品

勾配屋根工法用副資材

カスタムテープS

勾配屋根工法専用の片面粘着層付テープです。
水切金物の補強に使用します。

■規 格：幅 15cm×長さ16m/巻　6.9kg
厚さ 1.0mm　梱包 3巻/入

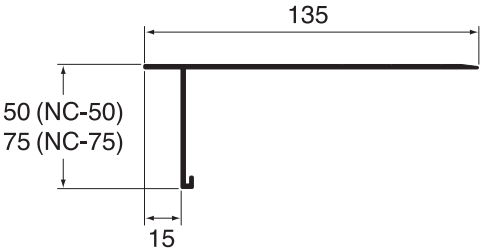
マルチシール

高耐候性変成シリコーン系シール材です。
カラーカスタムサンドのサイドラップ（長辺接合部）のシール処理や、エンドラップ（短辺接合部）の接着剤として使用します。
又、カスタムコーチングSの替わりに防水層端部の雨仕舞に使用することができます。

■規 格：330mL カートリッジ24本/箱入

水切金物

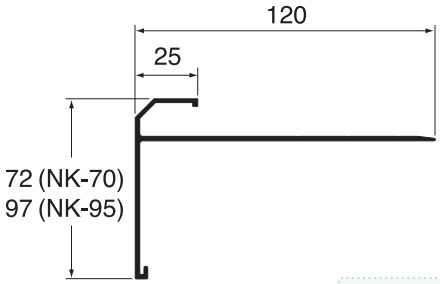
軒先用アルミ押出水切
マルエスアルミ水切 NC-50・NC-75



ジョイント板　11枚
プラグビス　　50本
同梱、取付穴有(φ6)

■規格：長さ 2m、厚さ 1.8mm 色 シルバー・ブロンズ・ブラック

ケラバ用アルミ押出水切
マルエスアルミ水切 NK-70・NK-95



ジョイント板　11枚
プラグビス　　50本
同梱、取付穴有(φ6)

■規格：長さ 2m、厚さ1.5mm 色 シルバー・ブロンズ・ブラック

※詳細については「マルエスシングル」専用カタログをご参照ください。

材料一覧表

	製品名	規格	厚さ(mm)	重量(kg)	備考
シート類	カスタムサンドF	1m×8m/本	3.5	36	部分粘着層付改質アスファルトシート(砂付)JIS A 6013 露出単層用R種Ⅱ類(受注生産)
	カスタムサンドUF	1m×8m/本	4.0	38	粘着層付改質アスファルトシート(砂付)JIS A 6013 露出単層用R種Ⅱ類
	カスタムサンドAF	1m×8m/本	3.0	29	粘着層付改質アスファルトシート(砂付)JIS A 6013 露出複層用R種Ⅱ類
	EEルーフBF	1m×12m/本	2.0	27	粘着層付改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層用R種Ⅱ類
	EEルーフBS	1m×12m/本	2.0	33	部分粘着層付改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層用R種Ⅱ類
	カスタムM	1m×16m/本	1.0	21	粘着層付改質アスファルトシート　防湿層用
	カスタムベースJ※1	1m×16m/本	1.5	27	粘着層付改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層用R種Ⅱ類(受注生産)
プライマー類	カスタムプライマーE	16kg/缶	—	16	水性系ゴムアスファルトプライマー
	カスタムプライマー	16kg/缶	—	16	溶剤系ゴムアスファルトプライマー
	速乾プライマー	15kg/缶	—	15	溶剤系速乾型ゴムアスファルトプライマー
	USプライマーC1※2	17kg/缶	—	17	コンクリート・モルタル用(一般用)
	USプライマーC2	16kg/缶	—	16	ウレタン系塗膜防水下地用プライマー
	USプライマーM2	0.5kg/缶、17kg/缶	—	0.5, 17	合成高分子系シート防水下地用プライマー
下地調整材	マルエスシーラー	20kg/缶	—	20	アスファルト系下地処理(活性)材
	AQシーラー	53kg (A材17kg、B材18kg×2袋)	—	53	水性ゴムアスファルト系下地処理材
	ニューセッターボードA	0.9m×1m/枚	4.0	5.5	アスファルト系マスチックパネル
	フィットエポ#10	34kg (主剤4kg+硬化剤4kg+粉体13kg×2袋)	—	34	水性エポキシ樹脂系下地調整材
	フィットリーチ	29kg(主剤25kg+混和剤4kg)	—	29	水性カチオン樹脂系下地調整材
	フィットベース	19kg(主剤1kg+硬化剤3kg+粉体15kg)	—	19	水性エポキシ樹脂系下地処理材
	ショウテック早強#200	43kg (混和剤18kg+粉体25kg)	—	43	急結高強度セメント系下地処理材
	フィットネオ	16kg/缶	—	16	アクリル系下地調整材
仕上塗料	プレノカラー遮熱	16.3kg/缶	—	16.3	水性カラー遮熱塗料
	サーモロックカラーMB	16.3kg/缶	—	16.3	水性カラー暗色系遮熱塗料(受注生産)
	FPクール	18kg/缶	—	18	水性カラー飛び火抑制·遮熱塗料(受注生産)
	ハイクール	16kg/缶	—	16	水性カラー高耐候性遮熱塗料
	ロッコート	20kg/缶	—	20	水性カラー飛び火抑制塗料(受注生産)
	プレノコートAL	18kg(主剤14.4kgアルミペースト3.6kg)	—	18	高耐用シルバー塗料 (溶剤系)
副資材	トップタイト	0.5m×1m	6.0	5.5	アスファルト成形板
	マルエス鉛ドレンM	330mm×330mmmm	—	—	改修用鉛ドレン　縦·横
	マルエス銅ドレン	365mm×365mmmm	—	—	改修用銅ドレン　縦·横
	ドレンキャップ縦	各種サイズ有(p.45参照)	—	—	改修ドレン用　ストレーナー　縦
	ドレンキャップ横	各種サイズ有(p.45参照)	—	—	改修ドレン用　ストレーナー　横
	スパイラルドレン	A φ88、B φ80	—	—	改修用ドレン(ステンレス製)キャップ共
	ニューステンレスベント	—	—	—	ステンレス製脱気筒
断熱材	BKボードE	910mm×910mm	—	—	押出成形ポリスチレン系
	シェーンボード	605mm×910mm	—	—	硬質ウレタン系
緩衝材	シェーンカント	—	—	—	断熱材端末部面取り材p.44参照
その他副資材	カスタムメルト	100mm×10m	1.0	3	ルーフィングのエンドラップ、ドレン等の補助材料
	EEルーフBFテープ	0.2m×12m/箱、2個/箱入	2.0	10.8	粘着層付改質アスファルトシート裁断品
	USボンドA	20、10kg/缶、330mL カートリッジ24本/箱	—	—	アスファルト系断熱材用接着剤
	キュービックコート	10kg/缶	—	10	1液型アスファルト系塗膜防水材
	カスタムコーチングS	22、11kg/缶、330mL カートリッジ24本/箱	—	—	ゴムアスファルト系シール材
	USボンド	主剤:2kg/缶、硬化剤:8kg/缶	—	10	2成分無溶剤型ウレタン系接着剤
	PTクロス	1m×200m	—	15	絶縁用クロス(フラットヤーンクロス)
	メジテープ	0.1m×16m	1.0	2.5	伸縮目地処理用テープ(受注生産)
	マルエス水切テープ	50mm×50m	—	0.43	パラペットアゴ下専用水切テープ
	クロスK	1.02m×50m	—	3.5	キュービックコート用補強材
	パラクッション	970mm×17mmmm	17.0	—	入隅部　成型緩衝材
	パラキャント	1000mm×25mm·30mmmm	—	—	入隅部　成型緩衝材(保護断熱用)
	シングルセメント※1	18、9、3kg/缶、330mL カートリッジ 24本/箱	—	—	アスファルト系接着剤(断熱材用)
	F16ハンドトーチバーナーセット	—	—	—	p.46参照
	カスタムテープS	15cm×16m、3巻/箱	1.0	6.9	片面粘着テープ、軒先·ケラバ金物補強用
	マルチシール	330mL　カートリッジ24本/箱	—	14.4	高耐候性変成シリコーン系シール材

※1 UR都市機構仕様にて使用する材料となります。(p.54参照)
※2 USプライマーC1とポルトランドセメントを1:0.5～1の割合で混合すると「USプライマーC10」となります。

防水層の維持管理について

屋上・ルーフバルコニー・ベランダ等をご利用される方へ

防水層が長期間にわたって安定した防水性能（機能）や美しい外観を保つために、日頃から下記の点にご注意いただき、定期的な自主点検とメンテナンスを実施されることをお奨めします。

使用上の注意

1.露出防水の場合 ――防水層上の注意点――

原則として維持・管理・点検以外の歩行及び使用はしないでください。

- 歩行する際にハイヒール、スパイク等底の尖った履物は防水層を傷つけるため使用しないでください。

- タバコの火の投げ捨てや火気の使用は、防水層の機能を損なうため、行わないでください。

- 雨や雪などで濡れていたり、落葉･苔･砂埃等が堆積していると滑りやすくなりますので、歩行の際には注意してください。

- 溶剤・油・不凍液・薬品類をこぼさないでください。

- ペットの飼育は、爪や歯で防水層を傷つけたり、排泄物により防水層が劣化する恐れがあります。

- 防水層を傷つけたり、物を落としたり、物を引きずったりすることは避けてください。

- 屋上設備類の定期清掃時に中性洗剤以外を使用する場合は、こぼさないように注意してください。また、清掃後は必ず周囲の防水層を水洗いしてください。

- 重量物や振動物は載せないでください。やむを得ず載せる場合には、ゴムマット等を敷き、防水層を保護してください。

- 雪下ろしには、金属製のスコップ等の防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。

- ゴムホースやビニールサンダルを長期にわたり置いておくと、接触している部分が変色することがあります。

- 直接客土して草木の植栽は行わないでください。ご希望の際は、専門工事店にご相談ください。

2.保護防水の場合

- 保護層上に溶剤･油･不凍液･薬品類をこぼさないよう注意してください。

- 屋上設備類の定期清掃時に、中性洗剤以外を使用する場合にはこぼさないでください。保護層の目地部等より浸透して、防水層に不具合を生じる恐れがあります。

- 火気の使用や直接客土しての草木の植栽は行わないでください。植栽をご希望の際は、専門工事店にご相談ください。
- 後から設備基礎等の施設を設置する場合には、設置方法によっては保護層を貫通して防水層を損傷する恐れがありますので、保護層の構造･厚み･積載荷重を考慮して設置してください。
- 目地部やドレン部に植物の繁茂が認められた場合には、防水層を貫通･損傷の恐れがありますので、むやみに引き抜いたりせず専門工事店にご相談ください。

自主点検時の注意

- 天候が降雨･強風の場合は、滑落等の危険がありますので、行わないでください。
- 原則として二人以上で行い、一人では行わないでください。
- 階段や梯子の昇降には十分注意してください。
- 後ろ向きの移動は危険ですので、絶対行わないでください。
- 屋上設備類には、むやみに触れないでください。
- 降雨後に点検する場合は、床が滑りやすくなっていますので、十分注意してください。
- 危険と思われる場所（怖いと思う場所）には、無理に近づかず業者に依頼してください。

メンテナンスのお願い及び注意

1.露出防水の場合（砂付ルーフィング仕上げ）

■ お願い

- 防水層の表面状況の点検や漏水の有無の確認（1年に1回以上）をしてください。
- 防水層端末押え金物回りの点検（1年に1回以上）をしてください。
  水切金物、笠木の設置状況及び端末処理シール材の劣化状況を確認してください。
  異常がみられる場合は、施工業者にご相談ください。
- 定期的（3～6ケ月程度）に清掃を行ってください。
  飛来物や排水溝、ドレン部分の泥、枯葉等はよく除去し、水溜りのないようにしてください。
- 定期的（3～6ケ月程度）に次のように表面状態の点検を行ってください。
  保護塗料が薄くなっている、剥離を起こしている、ひび割れがある等の異常や植物の繁茂が認められた場合には、施工業者に連絡してください。特に植物の繁茂箇所によっては、根が防水層を貫通していることもあり得ますので、むやみに引き抜かないでください。

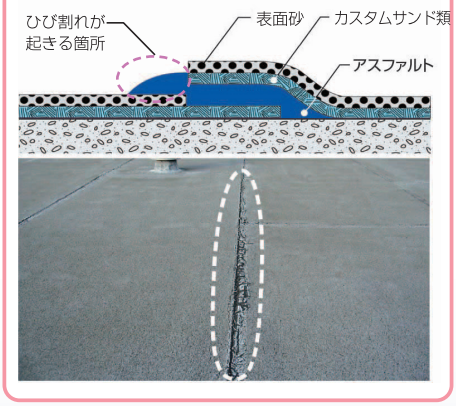
■ 注意

露出防水層には下記のような現象が見られる場合がありますが、防水性能には支障ありません。

- 施工時にルーフィングのジョイント部分よりはみ出したアスファルトに生じるひび割れ。
- 雨水が滞留し易い箇所に花粉、泥、塵埃（黄砂を含む）等が堆積し、乾燥･湿潤を繰り返す事により発生する表層のひび割れ、捲れ、剥離。
- 表層砂粒への錆の付着及び砂粒に含まれる鉄分による錆の発生。
- ルーフィングに付着している余剰砂の脱落。
- 表層砂粒間に入り込んだ水分（湿気）による表面の膨れ及び下地に含まれる水分による軽度な防水層の膨れ。
- 仕上（保護）塗料の自然な変色・退色・減耗・ひび割れ。

■ ひび割れについて

※ひび割れは、下図に示す通り、防水層に影響を与えるものではなく、防水上問題ありませ



2.保護防水の場合

- 保護層の表面状況の点検や漏水の有無の確認（1年に1回以上）をしてください。
- 植物の生育発生状況の点検・ドレン清掃（3～6ケ月程度）をしてください。
  伸縮目地部、ドレン回りに砂埃等が堆積していると植物の生育しやすい環境になります。飛来物や排水溝、ドレン部分の泥、枯葉等はよく除去し、水溜りのないようにしてください。植物の繁茂が認められた場合には、施工業者に連絡してください。
  繁茂箇所によっては、根が防水層を貫通していることもあり得ますので、むやみに引き抜かないでください。

防水層の補修、仕上塗料の塗り替えは専門技術が必要です。弊社又は専門工事店に依頼してください。（有償）

2. 2. 1表　アスファルト防水常温工法（P型）の工程

工程	品　名	使用量（／m²）	工 法	種別（○印は適用する工程） かぶせ方式	撤去方式
1	速乾性アスファルトプライマー	0.2kg	はけ塗り又はローラー塗り	—	○
2	アスファルト活性剤	1.2kg（1.0kg）(注)1	はけ塗り又はゴムベラ塗り	○	—
3	常温工法用アスファルトコンパウンド	1.2kg	はけ塗り又はゴムベラ塗り	—	○
4	常温工法用アスファルトコンパウンド	1.5kg	はけ塗り又はゴムベラ塗り	○	—
5	改質アスファルトルーフィング (注)2. 3	—	ローラー等にてシートを押え下地に十分密着させる。	○	○

(注) 1 工程2の（　　）内の数値は既存防水層がアスファルト常温工法の場合に適用する。
2 工程5の溶着型（トーチ工法）、自己接着型（自着工法）を使用する場合は、工程3及び工程4を省略する。
3 工程5に複合工法を使用する場合は、工程2を省略する。

絶縁帯がある場合

工程	品　名		使用量
1	マルエスシーラー		1.2kg／m²
2	カスタムサンドUF		—
3	絶縁帯	プライマーAQ／アスファルトプライマー	0.2kg／m²
4		EEルーフBFテープ	—

絶縁帯がない場合

工程	品　名	使用量
1	マルエスシーラー	1.2kg／m²
2	カスタムサンドUF	—
3	—	—
4	—	—

2. 3. 3 表　非断熱部の工程

工程	品　名	使用量（／m²）	工 法	種 別
1	速乾性アスファルトプライマー (注)1. 3	0.2kg	はけ塗り又はローラー塗り	撤去方式
2	アスファルト活性剤	1.2kg（1.0kg）(注)2	はけ塗り又はゴムベラ塗り	かぶせ方式
3	改質アスファルトルーフィング	—	ローラー等にてシートを押え下地に十分密着させる。	—
4	仕上塗料	製造所の仕様による※	はけ塗り又はローラー塗り	—

※ p.6「仕上塗料」よりご選定ください。

2. 3. 4 表　非断熱部と隣接する断熱部の工程

工程	品　名	使用量（／m²）	工 法	種 別
1	速乾性アスファルトプライマー (注)1. 3	0.2kg	はけ塗り又はローラー塗り	撤去方式
2	アスファルト活性剤 (注)2	1.2kg（1.0kg）(注)2	はけ塗り又はゴムベラ塗り	かぶせ方式
3	改質アスファルトルーフィング	—	ローラー等にてシートを押え下地に十分密着させる。	—

(注) 1 既存防水層を撤去した箇所は、工程1の速乾性アスファルトプライマーを塗布する。
2 「かぶせ方式」による場合、工程1は省略する。なお、既存防水層がアスファルト防水常温工法の場合、工程2の使用量は（　　）に示す。
3 非断熱部で既存塗膜防水層がある場合は、工程1を層間プライマーとし、品質及び使用量は「仕様登録集」による。

成形板表面補強部の工程

工程	品　名	使用量
1	マルエスシーラー	1.2kg／m²
2	カスタムサンドUF	—
3	カスタムコーチングS	—
4	プレノカラー遮熱	0.5kg／m²

UR都市機構　専用製品

シングルセメント

アスファルトを主原料とした断熱材専用の接着剤です。

■規格：18kg／缶

カスタムベースJ

片面粘着層付改質アスファルトルーフィングです。

※受注生産

■規格：幅1m×長さ16 m
厚さ 1.5 mm　27kg／巻

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

5年版）対応製品

2. 11. 2 表　改質アスファルトシート防水（一般部）の工程

工 程	品　名	使用量（／m²）	工 法
1	アスファルト活性剤	1.2kg (0.8kg)(注)1	はけ塗り又はゴムベラ塗り
2	接着剤(注)2	—	はけ塗り又はクシ目バケ
	粘着材（部分粘着型シート、粘着層付テープ状シート、粘着層付レベラー材等）(注)2	—	はけ塗り、ゴムベラ塗り又は圧着
3	硬質ウレタンフォーム(注)2. 3	—	—
4	自己粘着型シート	—	ローラー等で押え自着層で圧着
5	改質アスファルトシート	—	トーチバーナーで溶着（トーチ工法）又は自着層で圧着（自着工法）
6	仕上塗料	製造所の仕様による※	はけ塗り又はローラー塗り

(注) 1 工程1の使用量（　　）内は、「撤去方式」の場合に適用する。
2 工程2及び3は、断熱材を取り付ける場合に適用する。
3 工程3の硬質ウレタンフォームの厚さは特記による。

※ p.6「仕上塗料」よりご選定ください。

2. 11. 3 表　改質アスファルトシート防水（外周部）の工程

工 程	品　名	使用量（／m²）	工 法
1	アルミ製水切金物	—	粘着テープ付け、アンカープラグビス付ビス固定
2	接着剤	—	はけ塗り又はクシ目バケ
	粘着材（部分粘着型シート、粘着層付テープ状シート、粘着層付レベラー材等）	—	はけ塗り、ゴムベラ塗り又は圧着
3	硬質ウレタンフォーム(注)	—	—
4	自己粘着型シート	—	ローラー等で押え自着層で圧着
5	改質アスファルトシート	—	トーチバーナーで溶着（トーチ工法）又は自着層で圧着（自着工法）
6	仕上塗料	製造所の仕様による※	はけ塗り又はローラー塗り

(注) 工程3の硬質ウレタンフォームの厚さは特記による。

※ p.6「仕上塗料」よりご選定ください。

一般部

工 程	品　名	使用量
1	マルエスシーラー	1.2kg／m²
2	シングルセメント	1.0kg／m²
3	シェーンボード	—
4	カスタムベースJ	—
5	カスタムサンドUF	—
6	仕上塗料	製造所の仕様による※

※ p.6「仕上塗料」よりご選定ください。

外周部

工 程	品　名	使用量
1	アスファルトプライマー	0.2kg／m²
2	シングルセメント	1.0kg／m²
3	シェーンボード	—
4	カスタムベースJ	—
5	カスタムサンドUF	—
6	仕上塗料	製造所の仕様による※

※ p.6「仕上塗料」よりご選定ください。

ズレ止めについて　現場状況に応じ、ズレ止め処置を必要とする場合は、監督員と協議の上決定する。

付着力の試験

イ　試験は、次の①から④の防水層別に実施し、各棟全項目につき1ヶ所以上屋根面で測定する。なお、測定箇所は監督員と協議する。

① シングル材相互の張り重ね部　② シングル材と下葺き防水材の張り付け部　③ 下葺き防水材と屋根下地の張り付け部
④ 断熱材と下地屋根の張り付け部（既存が断熱工法の場合）

ロ　試験方法は、①②③については各層間、④については断熱材と下地の接着部分で付着力を測定する。
ハ　付着強度は、①、②及び③は、1.8N／cm²以上、④は、3.5N／cm²以上であることを確認する。
ニ　既存シングル等の付着強度が所定の強度を得られない場合は、監督員と協議する。

ミズ太郎

- 当カタログのデータは全て性能値であり保証値ではありません。
- カタログに掲載してある製品の色は実際のものとは印刷インキの再現上、多少異なる場合があります。
- 材料、仕様は予告なく変更する場合があります。
- 製品の保管及び取扱いについては、SDSをご参照の上、ご使用ください。

防水のことがわかるニッシン・オフィシャルサイト　https://www.nisshinkogyo.co.jp/

総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

0120-86-2424

■本社／営業統括部　〒120-0025 東京都足立区千住東2－23－4……TEL.(03)3882-2571

■関　　東　TEL.(03)3882-2641　■九　　州　TEL.(092)451-1095　■広　　島　TEL.(082)541-5033

■大　　阪　TEL.(06)6263-7711　■札　　幌　TEL.(011)215-1034　■横　　浜　TEL.(045)316-7885

■名 古 屋　TEL.(052)933-4761　■仙　　台　TEL.(022)393-7209　■工　　場　埼　玉・山　形

Jun. 2024-3000 Vol.2-1 TP